
Ⅲ. 戦略ビジョン・戦略推進プラン

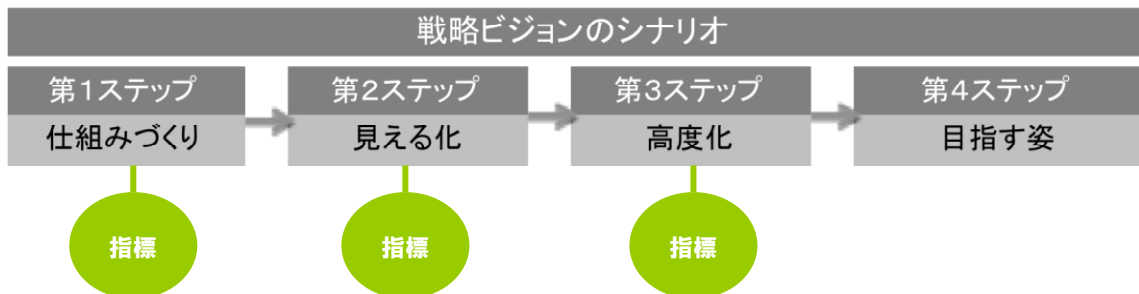
～基本計画・実施計画

3：戦略ビジョン（基本計画）

3-1. 「戦略ビジョン」とは

「戦略ビジョン」は、「ニセコビジョン（基本構想）」におけるまちづくりの方針に基づき、その実現に向けて戦略的、先導的に進めることが必要な方向性とそのシナリオを体系的に示した基本計画です。

11 の戦略ビジョンは、ニセコビジョンの達成にとって重要で効果的と思われる主な政策を、分野横断的に関連づけて「シナリオ」として示しています。それらの中のいくつかの政策は、複数のビジョンに重複して関連付けを行っています。戦略ビジョンのシナリオは、次の4つのステップを踏みながら、平成35年度の目指す姿へと進みます。



11 の戦略ビジョンのステップそれぞれに政策が位置づけられ、その中のいくつかについては、実現度合いを検証するための目安となる評価指標（成果指標）を設け、4年おきに実施する町民アンケート調査による住民の評価をもとに、計画の進行管理を行います。

11 の戦略ビジョンは、次のとおりです。

- 戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます
- 戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します
- 戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います
- 戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります
- 戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します
- 戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます
- 戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます
- 戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます
- 戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります
- 戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります
- 戦略ビジョン⑪：住民みんながまちづくりを考え、活動します

3-2. 戦略ビジョンの体系

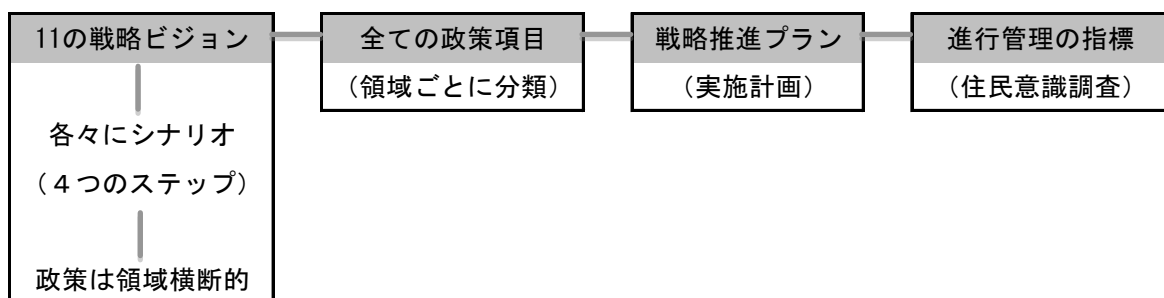
戦略ビジョン（基本計画）は、ニセコビジョン（基本構想）を実現するための方向性を示すものであり、全ての領域にわたる政策項目を含んでいます。これらの政策項目を実現するための効果的な道筋として、11のビジョンを示しています。この11のビジョンは、それぞれの実現プロセスとして、4つのステップによるシナリオを有しており、全ての政策項目は、これらのシナリオとそれを補う項目の中に位置づけられます。また、これらの政策項目には成果指標が伴っており、政策実現に向けた進行管理に用います。

3-3. 戦略ビジョンの政策と評価指標

戦略ビジョンを実現するための政策項目と、ビジョンの実現に向けて計画の進行管理を行うときに使用される成果指標（町民の意識調査にもとづく評価指標）※注は、46ページ以降に示します。

この中で、太枠の政策項目は、町民意識調査において町民が不満を感じ、かつ重視していることを示す評価指標となったものです。この項目は、重点課題となります。

また、これらの政策項目を、段階を追って実現していく手順について設定しているシナリオのステップも合わせて示しますが、そのシナリオを構成している全ての政策項目とその政策項目を実現するために実施する施策や事業については、46ページ以降に示します。



※注：評価指標（成果指標）

システムとしては、全ての政策項目に政策指標を付して、政策の進行管理に活用します。現状の評価指標については、平成22年度と平成27年度に実施したアンケート調査に基づいて、各々作成してしています。

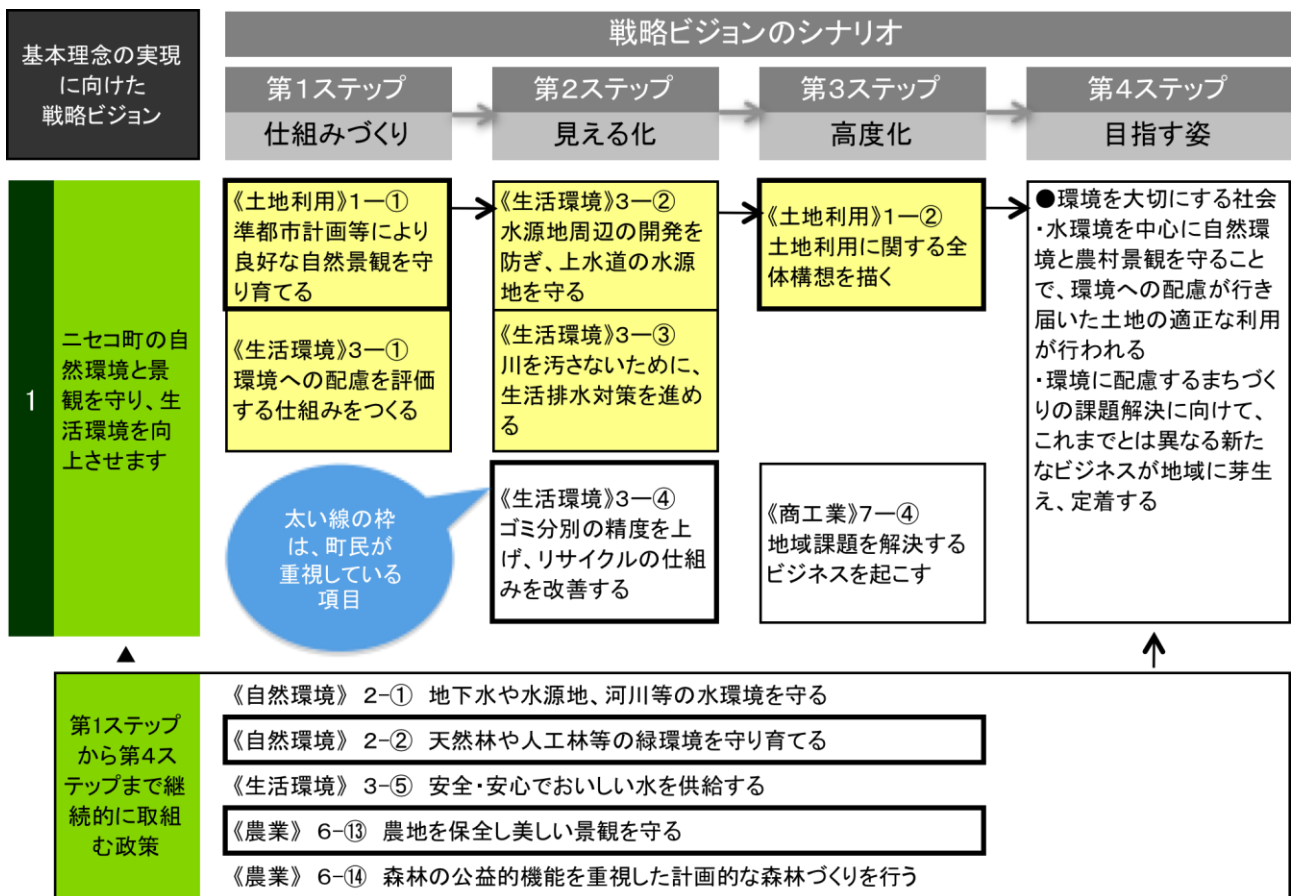
- ① 評価値：アンケートにおいて、各政策項目ごとの質問に対する満足度の度合いを100点満点で換算した評価の値。
- ② 重視度：満足度の値を、統計分析（重回帰分析）によって算出された係数（標準化偏回帰係数）をもとに、重視度を、I～IVの4つの類型で示しています。I～IVの4つの類型の意味については、8ページ参照。

3-4. 戦略ビジョンを実現するためのシナリオ

戦略ビジョン 1：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に土地利用のルールと環境配慮を原則とし、自然環境と生活環境及び景観の保全、とりわけニセコ町の自然環境を象徴する水環境を守ることを環境戦略ビジョンの基軸とします。

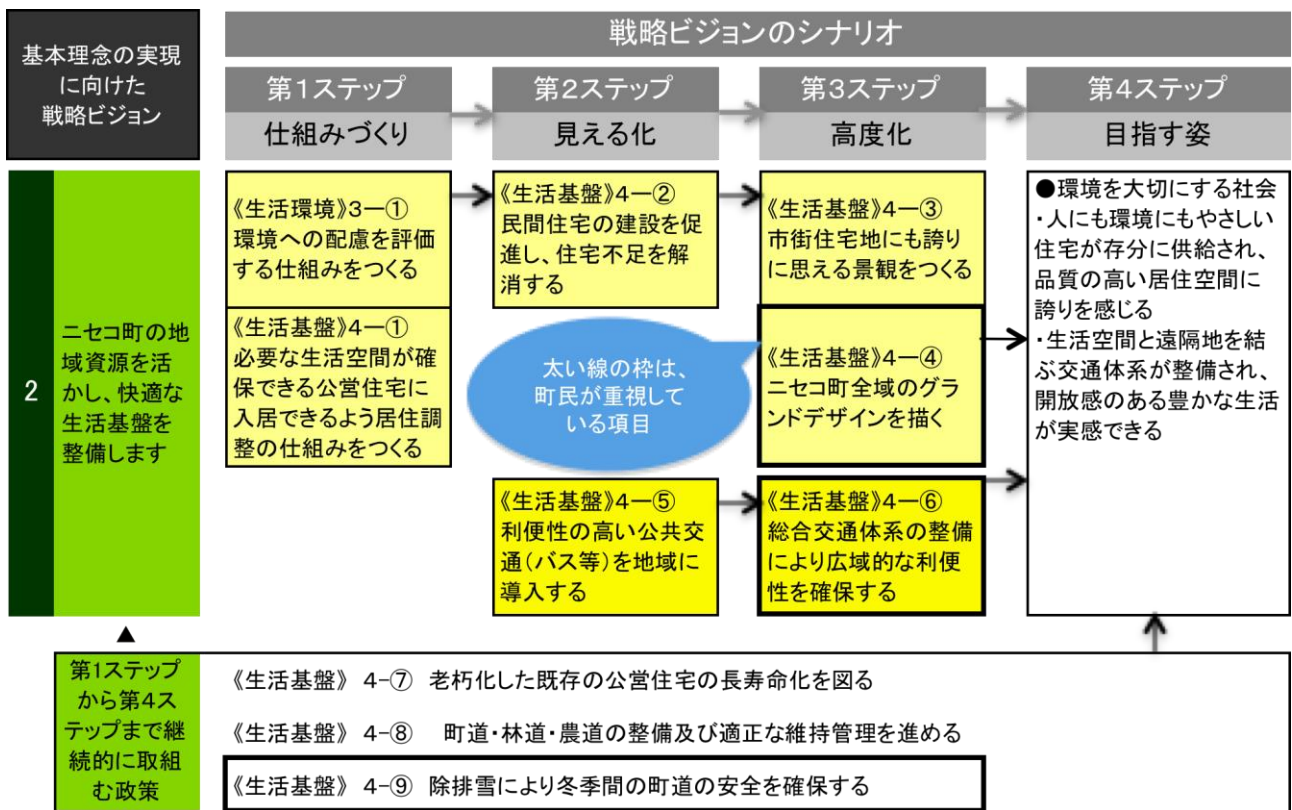
現行の準都市計画と景観条例、また水道水源保護条例や地下水保全条例などにより、自然環境とりわけ住民のライフラインとも言うべき水資源の保全に向けた取り組みを行うと同時に、河川を汚さないための生活排水浄化対策も一層推進します。このような水循環を大きなテーマとして、尻別川流域の水源を涵養する森林や水の恵みに浴して形成される農村景観などを軸とするニセコ町全域にわたる土地利用構想を描き、ニセコ町の多様な自然環境と景観の保全と調和したまちづくりの指針とします。



戦略ビジョン 2：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に
住宅不足が深刻な課題となっていることから、既往住宅ストックの長寿命化を進めると同時に、民間とのパートナーシップをもとに環境への配慮に基づくさまざまな手法により、住んで誇りの持つことが出来る居住空間づくりを進め、市街地全体の新たなランドデザインの策定を目指します。

生活環境の利便面で大きな課題となっている地域交通については、デマンドバス等の公共交通網をレベルアップさせながら、地域全体としての総合広域交通網の整備にも対応できる仕組みづくりを進めます。



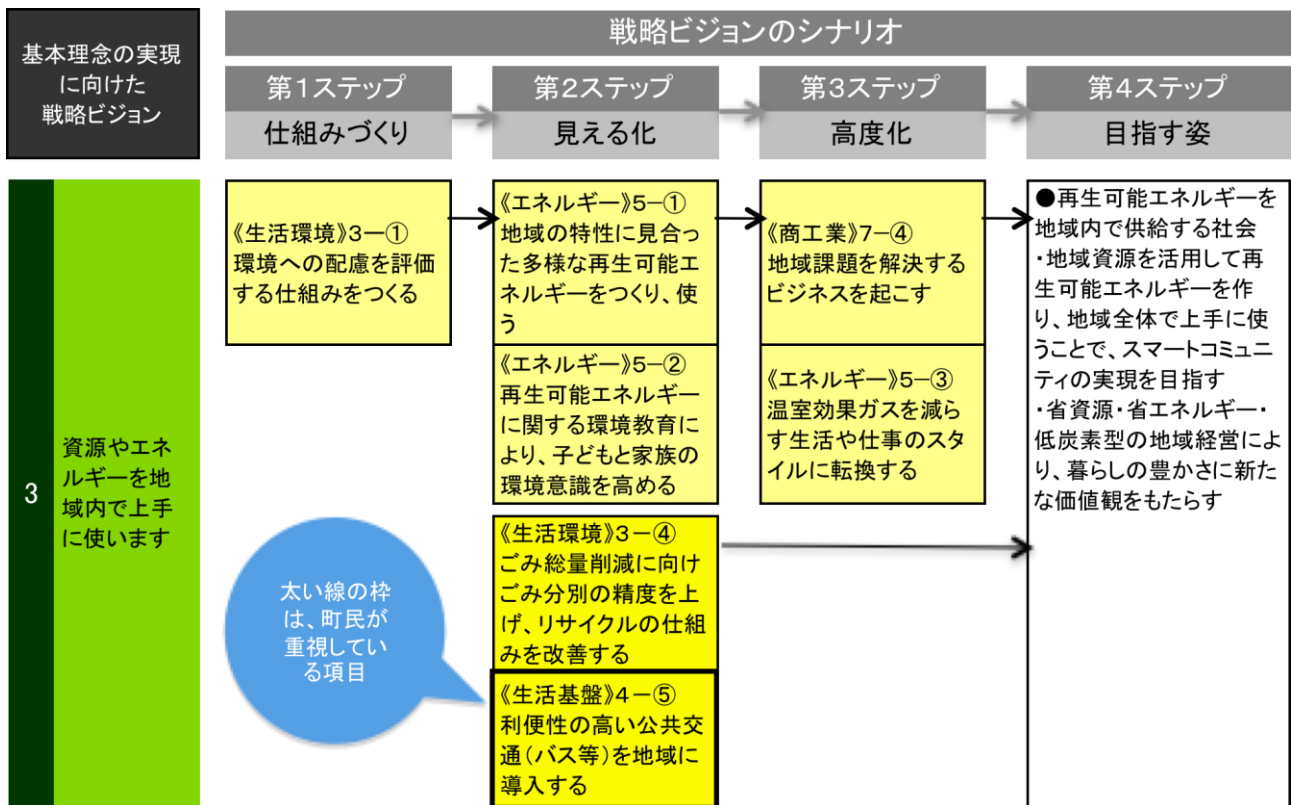
戦略ビジョン 3：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に再生可能エネルギーを地域内で生み出し、上手に使う仕組みをつくる際に、それが各地域の環境との間にどのような相互影響をもたらすかを検討し、配慮することによって、地域の実情に合った適切な資源とエネルギーの循環を生み出すことができます。

このような取り組みの過程を、学校の子どもたちやその家族への環境教育として周知することによって、その意義についての理解を深めることができます。また、再生可能エネルギーの利用についての意識が喚起されることで、住民や民間事業者が環境に関するビジネスを起こす機会も生まれます。

再生可能エネルギーを地域内で生み出し、効率良くエネルギーをやりとりすることによって、再生可能エネルギーを上手につかう仕組みを地域全体に「スマートコミュニティ」を導入していく展望が開けてきます。

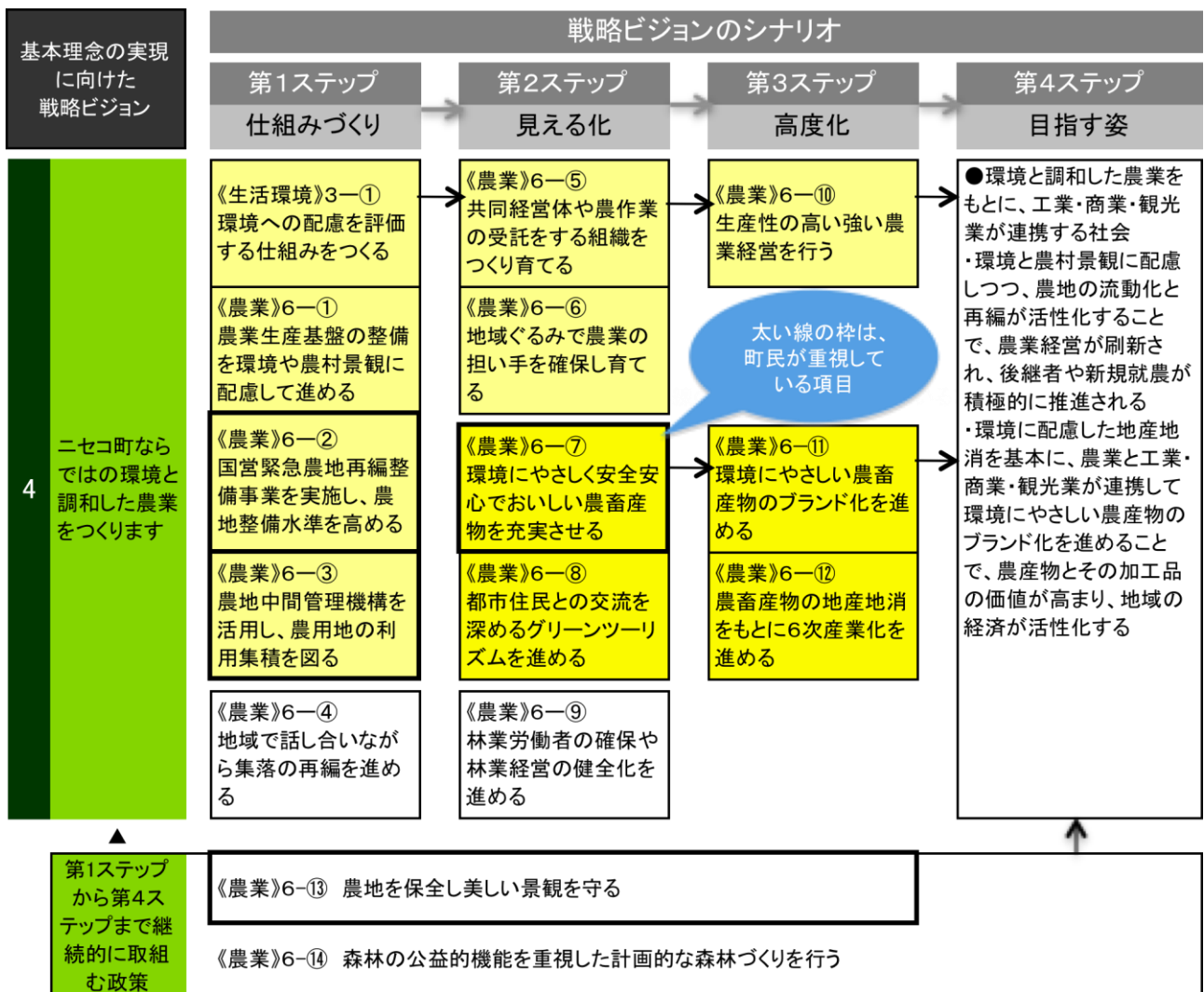
さらに、ごみ分別の精度を上げることや、公共交通網を地域に充実させること等も、低炭素社会の実現に向けた重要な一歩となります。



戦略ビジョン 4：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に環境に配慮しながら国営緊急農地再編整備事業を進めることによって、長年の懸案であった農地の団地化等が進み、一方では農地の流動化が促進されることで、部分的な共同経営体が導入され、担い手の育成等農業経営の大きな転換が始まります。農地の利用集積を進める農地支援銀行構想も、この変化を加速させます。さらには、農地の美しい景観が守られ、環境にやさしい農業を進めるための基盤も整えます。

これらの取り組みの中で育つ農業の担い手の新しい発想が、環境調和型農畜産物の水準を上げる背景となって農畜産物のブランド力を高める原動力となります。さらに、地域の自然環境を満喫しながら農畜産物を食材として楽しめる地産地消型の農家レストランや直売所の展開に加えて、地場農畜産品の加工や販売・流通も取り組むことにより、農業・加工業・商業・観光業が連携する仕組みがつくられ、若者の雇用機会が増えるとともに、地域の経済活性化につながります。

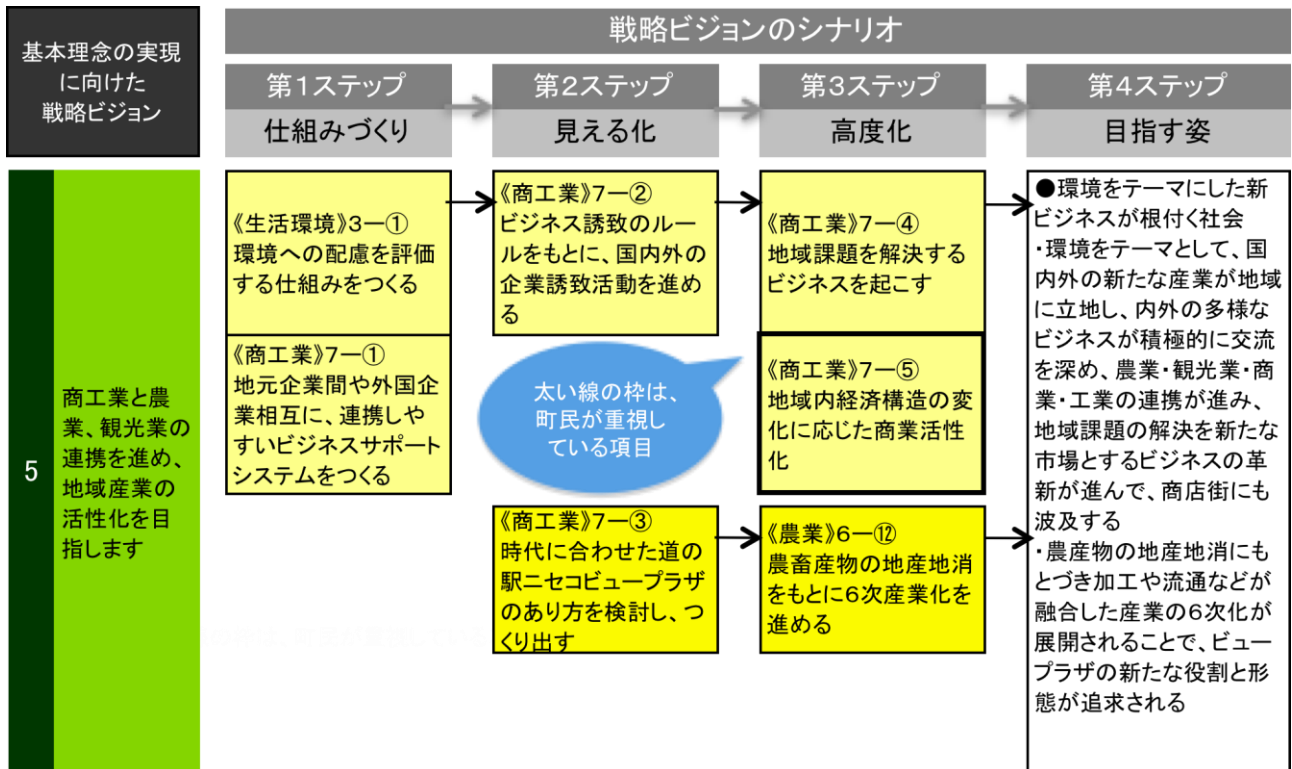


戦略ビジョン 5：商工業と農業、観光業の連携を進め、地域産業の活性化を目指します

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に

地域に立地している海外企業と地元企業が連携を深めることで、互いの持ち味が活かされるビジネスのネットワークづくりが進みます。その結果、人材や情報、物品、資本等さまざまな地域資源が地域の中で回りはじめ、小規模なビジネスが立地しやすくなります。

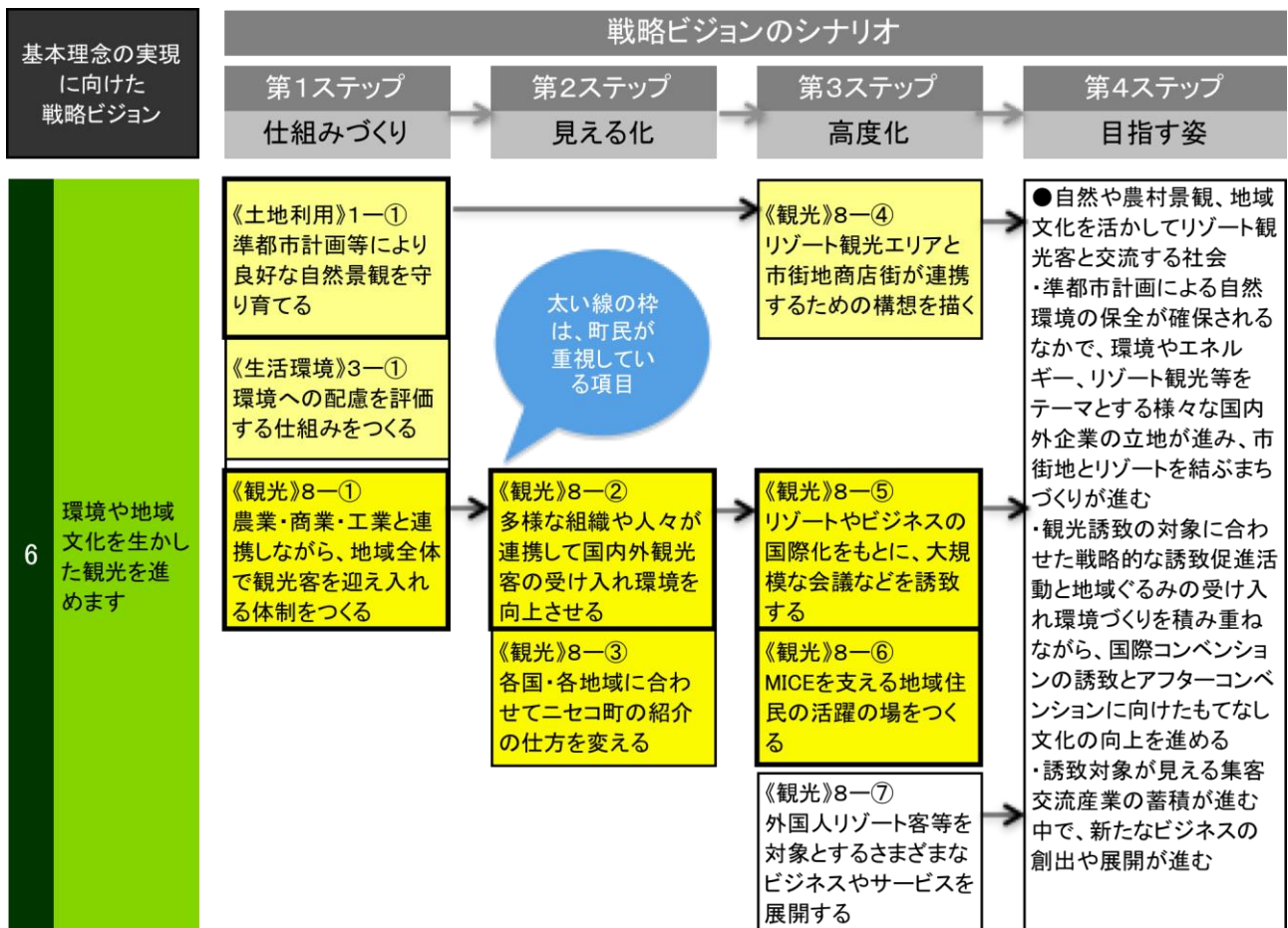
なかでも重要な地域資源である農産物は、環境にやさしいクリーンなブランド化を図ることによって付加価値が高まり、農業・観光業・商工業の連携につながります。住民やリゾート観光客等を対象とした地産地消は、人と環境にやさしい安全で安心な農産物を地域内にさまざまな形で供給することであり、地域内で資源が循環する6次産業化の背景となり、その流通を担う市街地商店街等の活性化も期待されます。市街地商店については、空き店舗の活用等によるたまり場や賑わいのスポットづくりを進めると同時に、インターネット上に構築する仮想商店街と結びついた新しい顧客の獲得や、集落高齢者への配送システム等に携わるソーシャルビジネスの起業も展望されます。同時に、産業面からまちづくりをともに担う新たな企業の誘致活動も展開され、ビジネスのネットワークが一層拡大されることとなります。このような取り組みを進めることによって、ニセコブランドが確立され、ニセコブランドを中心とした地域産業の活性化を通して、地域社会と観光リゾートの連携が期待されます。



戦略ビジョン 6：環境や地域文化を生かした観光を進めます

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に土地利用のルールを明確にし、土地の買い占めや無秩序な開発を防ぐための規制をつくることで、地域の自然環境や生活環境を守りながら、土地を上手に開発し利活用していくことが可能となります。その上で、国内外の観光客をより良い環境で受け入れるために、関係する人々が連携して、各国・各地域のニーズに合わせた内容でニセコ町の魅力を紹介していきます。さらに、良質の自然環境を満喫しながら地元農産物を楽しめる地産地消工房型の農家レストランの展開等により、農業・観光業・商工業が連携する仕組みが生まれ、地域の経済活性化につながります。

また、国内外の芸術家が地域に一定期間滞在し、芸術作品を創作する「アーティスト・イン・レジデンス」や、農的生活を学び・体験するイベントを実施する等、地域の文化を活かした取り組みを進めていきます。国際コンベンションは、世界から多様な人々が訪れ、掲げられたテーマに関する深い交流が幅広く行われることから、町民が来訪客と接し交流を図り、地域文化を紹介して相互理解を深める活動によって、町民の潜在的な文化力が発揮され、新たなビジネス起業のきっかけも生まれます。

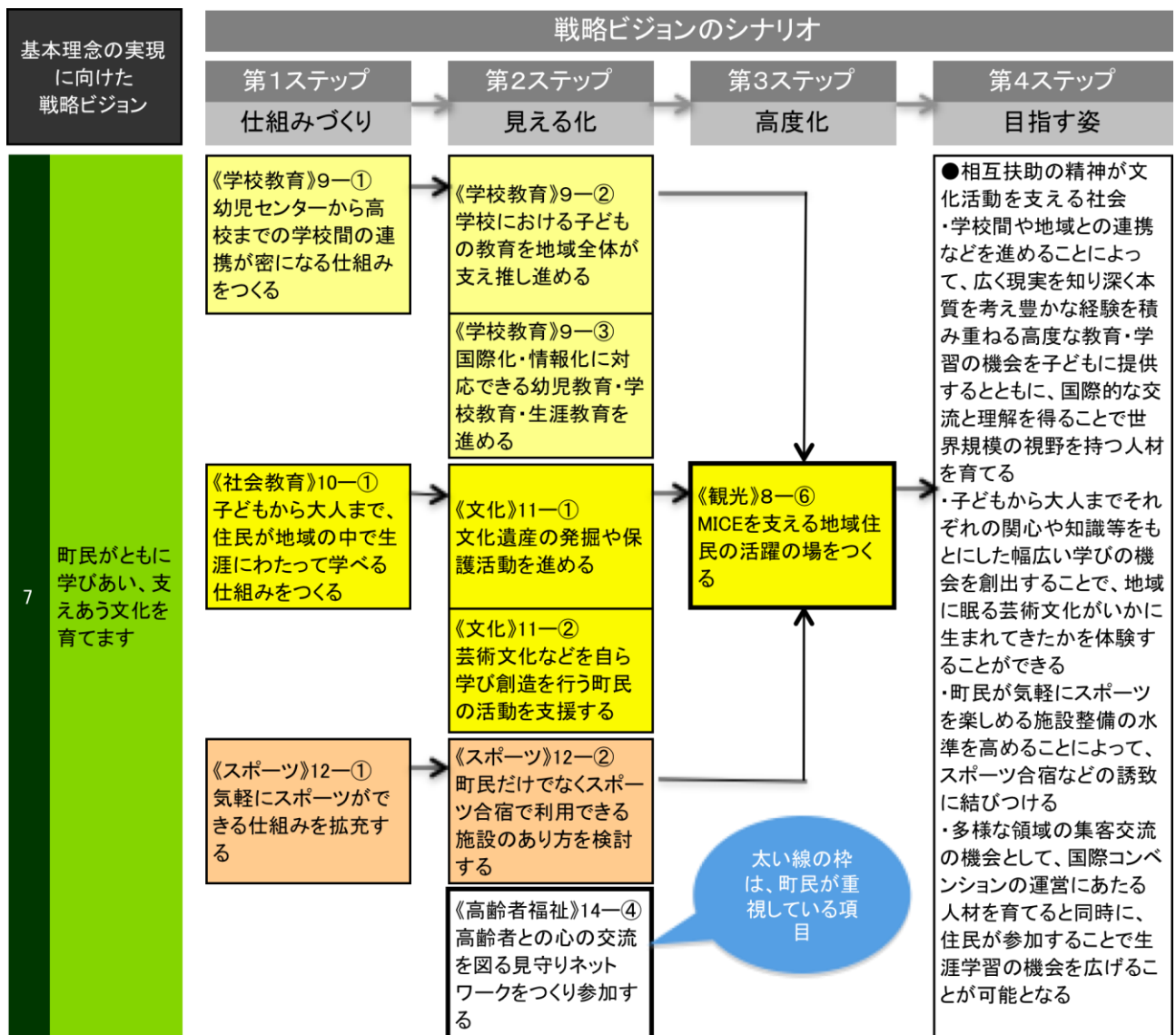


戦略ビジョン 7：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に
 学校における学びと地域社会における学びやスポーツ活動、そしてリゾート観光客も楽しめる地域文化や有島武郎等、地域に根ざした芸術文化が、それぞれ関連しあって展開されることによって、年齢を問わず地域住民の潜在的な力が大いに発揮されます。そのような住民の文化活動や文化イベントの拠点として、町民センターや有島記念館、あそぶっく、総合体育館等が地域に開かれ活用されることにより、活動の活発化も期待できます。

ニセコ町に住むさまざまなノウハウの持ち主を中心に住民同士が学びを楽しむ仕組みが形成されることで、地域にさまざまな文化活動が根付き、国際化に対応する教育も地域の文化活動とつながることによって、その成果をより一層深めることが可能となります。

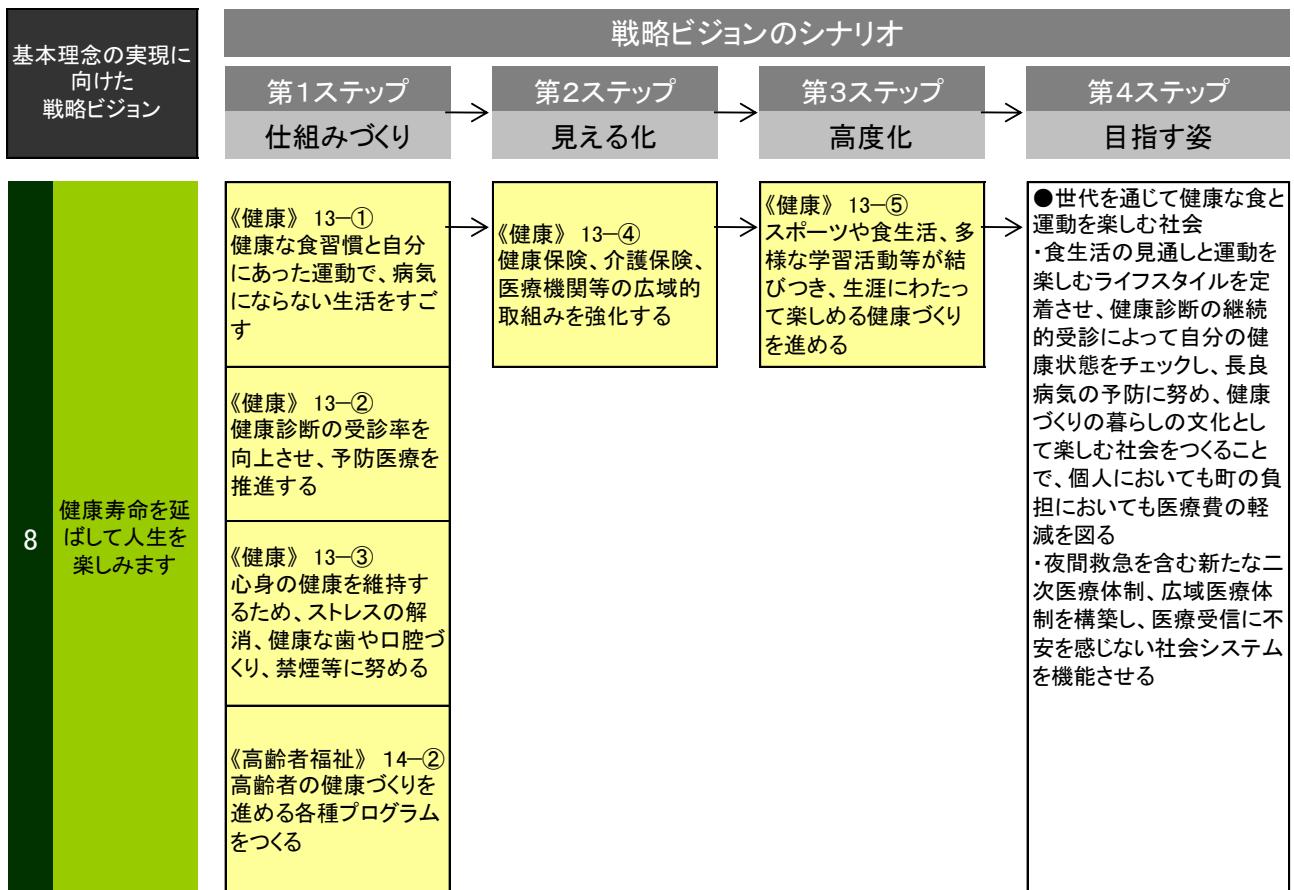
さらに、国際コンベンションの誘致に向けて、地域を挙げておもてなしができる地域力も形成されることになり、世界各地からの参加者と交流する町民の活躍の場が一層広がります。



戦略ビジョン 8：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に死亡原因の5割を超える生活習慣病を防ぐため、健康診断の受診率を向上させることによってその進行具合を把握し、予防医療による発症防止や、食生活の改善と継続的な運動等により暮らしを楽しむライフスタイルを身につけることが、健康寿命を延ばす第1歩となります。同時に、総合的な医療機関を軸とする二次医療は、常勤医師の激減により崩壊の危機を迎えていますので、羊蹄山麓広域でまずは休日夜間救急医療体制を安定させる等、いざという時のための広域的な体制づくりを急ぎます。

健康づくりを楽しむコツはスポーツや食生活、文化活動等を通じて、地域の中でさまざまな人と交流し社会参加を楽しむことです。心身とも健康な人生をおう歌する住民活動が普及することを目指します。



戦略ビジョン 9：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に
住民の持っている知恵や力を出し合うために、地域の中で日ごろから集まる仕組みがつくられ、日常的にも災害時にも高齢者を見守りを支える体制づくりが進みます。また、子育てに悩む若い家族を支える住民ネットワークや、障がい者と地域の中でともに生きるノーマライゼーションが自然に息づき、互いに助け合って暮らす相互扶助の地域社会が成熟してきます。このような福祉の取り組みを進めていくことで、住民活動のリーダーが育まれたり、高齢者の見守りネットワークの輪が広がります。

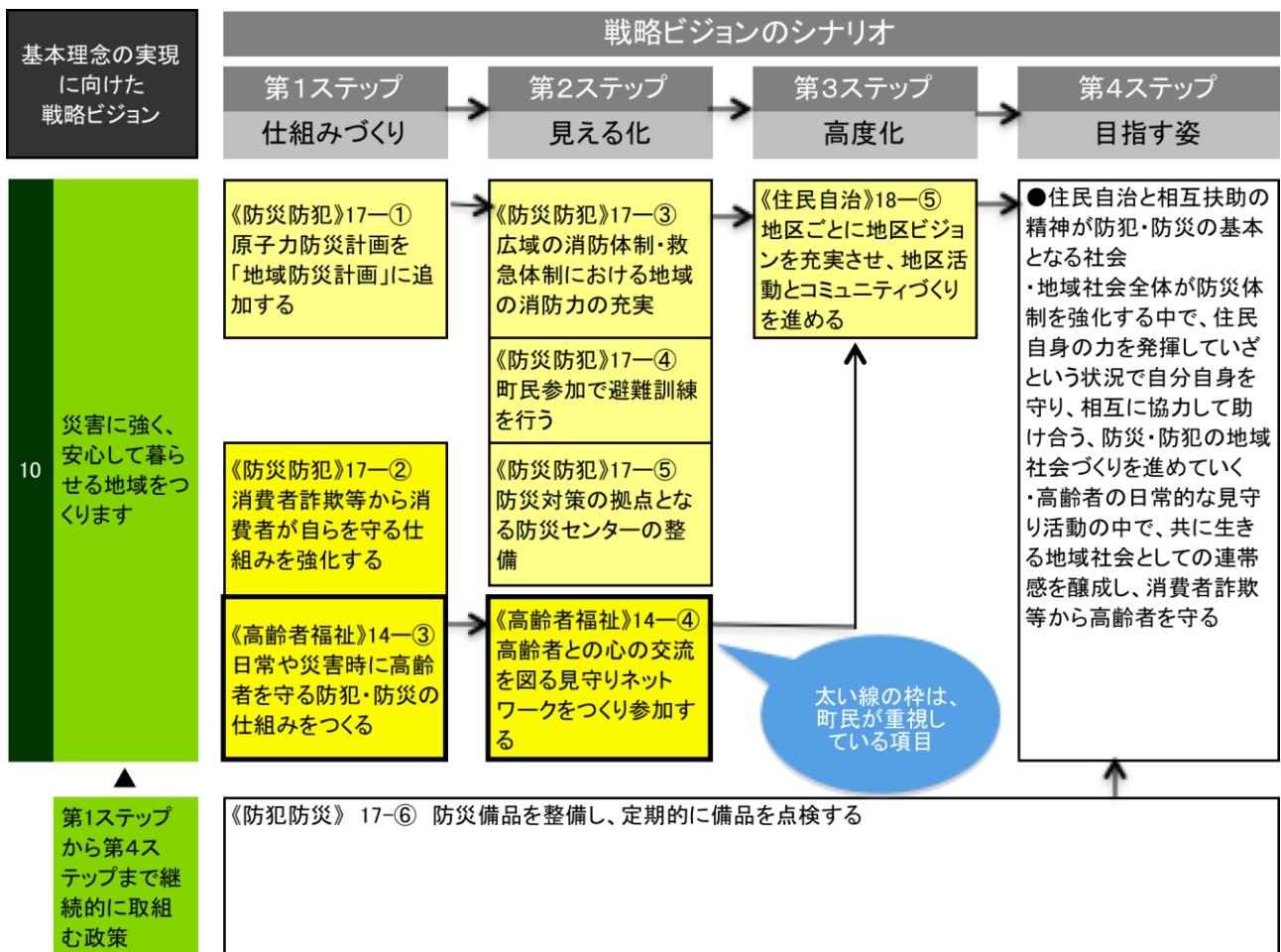


戦略ビジョン 10：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に

3.11 東日本大震災を教訓に、住民自ら防災にあたる「自助」、地域の支えあいによる「互助」、行政等による「公助」を的確に組み合わせた防災の仕組みをつくとともに、泊原発の事故をも想定した原子力防災体制を構築し、地域防災計画に記載します。

また、この仕組みが災害時に機能するように、高齢者の見守りネットワークをつくり、日常的な活動を進めます。さらに、これらの検討や活動がいざという時、どの程度機能するのか、実地を想定した避難訓練を定期的に行います。

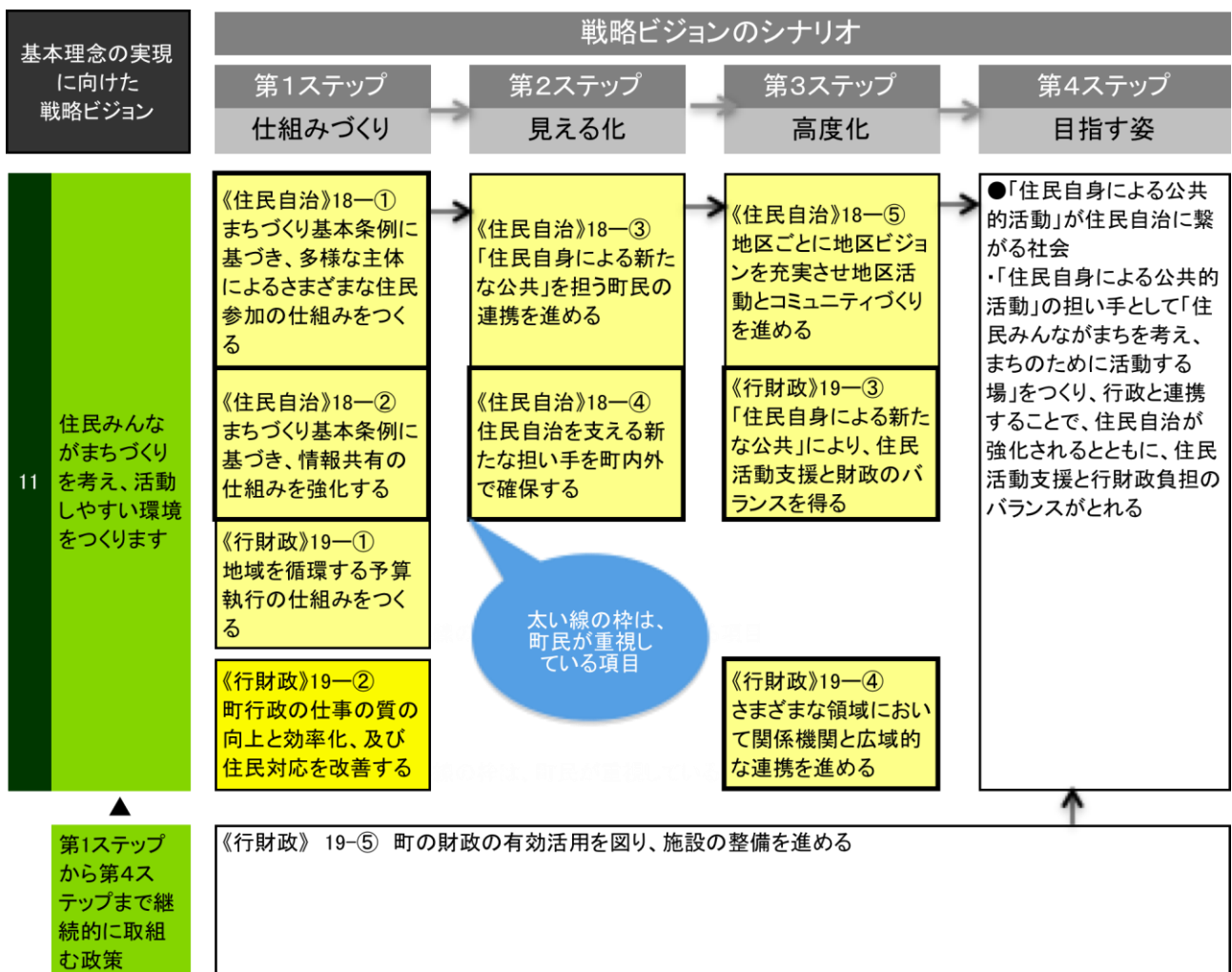


戦略ビジョン 11：住民みんながまちづくりを考え、活動します

■戦略ビジョンのシナリオ →※シナリオを構成する個々の政策内容と関連施策については46ページ以降に「ニセコ町まちづくり基本条例」が定めている情報共有と住民参加をさらに進めていくために、さまざまな地域の課題や解決策を話し合う場・仕組みをつくり、その検討や実践の中から、住民自身により公共を担う町民の主体的な活動が始まります。その過程で、テーマごとの住民活動が連携し、新しい公共の担い手が生まれます。

このような町民の主体的な動きが活発になることで、我が国全体で人口減少が進んでいく中においてもまちづくりの担い手が町内外から確保され^{※注}、ボランティアや営利活動とは異なる、地域の課題を解決するソーシャルビジネスが生まれます。これが定着していくことで、住民自治活動が行政と連携し、「住民みんながまちを考え、活動する」地域社会となっていくます。

地区においては、第5次総合計画の策定過程で検討を始めた「地区ビジョン」を地区住民自らの活動課題として捉え、地区ごとに将来像を描きながら、その実現に向かう活動を重ねることで、地域の「住民自治」が根付きます。



※注 平成 27 年度の総合計画第 1 次見直しに際して、「ニセコ町自治創生総合戦略」（平成 27 年 3 月策定）を反映しました。反映にあたり、総合計画と総合戦略の関係を、次のように整理しました。

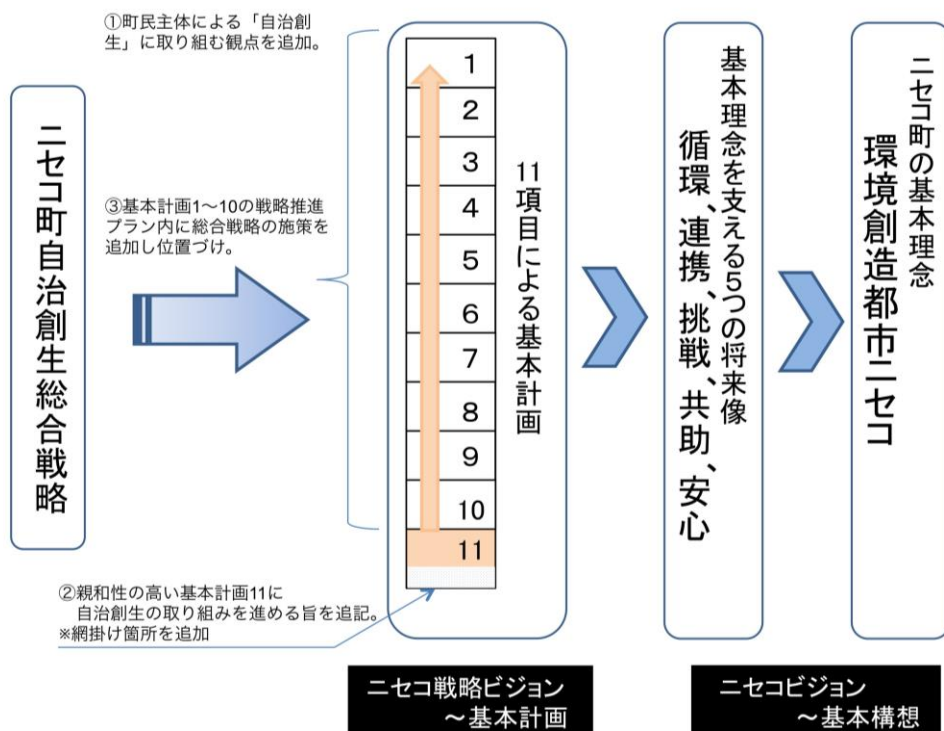
1) 総合戦略自体の位置づけ

総合戦略は、将来にわたり町外の資金や人材を町内に取り入れるとともに、町外への流出を減らして町内循環を高めることを目指す、ニセコ町全体にとっての地域経済戦略です。

従って、行政だけではなく、ニセコ町のあらゆる関係者が、総合戦略の推進主体になり得ます。関係者それぞれが、地域のために何ができるかという意識をもってまちづくりに参加することが、今改めて求められています。

2) 総合計画上の総合戦略の位置づけ

- ①総合計画に、「ニセコ町まちづくり基本条例」に基づき、ニセコ町らしく、町民主体による「自治創生」に取り組んでいく観点を追加しました。
- ②自治創生は、町民主体のまちづくりを目指していることを踏まえ、戦略ビジョンのうち最も親和性が高い「11. 住民みんながまちを考え、活動する」の一部として位置づけました。
- ③戦略ビジョン 11 における「住民自身による公共的活動」自体は、戦略ビジョン 1～10 の政策分野が横断的に対象になり得ます。従って、総合戦略に基づく施策・事業が、戦略ビジョン 1～10 にも位置づけられることとなります。



3-5. 戦略ビジョンを実現するための政策項目（戦略推進プラン）

（１）土地利用

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

1-① 準都市計画等により良好な自然景観を守り育てる

準都市計画等に指定されているリゾート観光エリアについて、無秩序な開発を未然に防止し、良好な自然環境や農村景観を守り、育てていきます。なお、現在の指定エリア以外で、大規模な土地取引や開発計画が予想される等、周囲の状況の変化によっては、指定エリアの拡大についても調査・検討を行っていきます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 準都市計画・特定用途制限地域・景観地区に指定されている地域について、建築物・工作物・開発行為等を制限することによる無秩序な開発の未然防止、及びニセコ町らしい良好な景観の保全

■指標の目指そう値【準都市計画エリアの現状に対する評価／100点満点】

① 現状評価値：平成27年度＝45.4

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

② 目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

1-② 土地利用に関する全体構想を描く

自然や農地、林地、市街地等全町域の土地の利用について、環境や景観、産業の生産性や生活のしやすさなど総合的な観点から、どのように配置し、利用するのが持続的な観点で適正なのか等について、全体構想を描きます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ニセコ町全域のランドデザイン策定
- ・ 土地利用総合調整基本計画の策定に向けた検討

■指標の目指そう値【土地利用の現状に対する評価／100点満点】

① 現状評価値：平成22年度＝33.1／平成27年度＝39.7

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

② 目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

(2) 自然環境

【第1ステップから第4ステップまで継続的に取り組む政策】

2-① 地下水や水源地、河川等の水環境を守る

地下水や水源地を守るため、条例に基づく規制等によりその水源涵養機能を維持すると同時に、過大な取水や周辺の買い占めが起きないように、町が土地所有者から買い受けて開発を防ぐなどの保全策を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 大量取水の規制による地盤沈下や地下水の枯渇防止
- ・ 水道水源涵養域の保護域としての開発規制
- ・ 河川の環境整備（普通河川の倒壊した樹木やごみ等の回収と、地域の生活環境保全及び安全の確保）

■指標の目指そう値【河川環境の保全の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝45.4／平成27年度＝56.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝57.5／平成35年度＝62.5

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

2-② 天然林や人工林等の緑環境を守り育てる

森林の保全は、水、空気、土壌、生物等自然生態系を維持する上で重要な役割を果たしているほか、レクリエーションなどにも活用されており、植林や育林の活動によって森の保全につとめます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 未来へつなぐ森づくりの推進
- ・ 森林整備地域活動の支援
- ・ 町有林の育成（除間伐）
- ・ 民有林の除間伐の奨励
- ・ 小規模治山

■指標の目指そう値【森林等緑環境の保全の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝42.5／平成27年度＝52.7

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝70／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

(3) 生活環境

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

3-① 環境への配慮を評価する仕組みをつくる

暮らしや産業はさまざまな形で環境に影響を与えますので、その度合いを点数化して、なるべく環境に与える影響を減らすような仕組みをつくりま

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 「環境白書」の発行と、環境配慮の度合いに関する評価

■指標の目指そう値【環境配慮の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝57.8

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくりま

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を

目指します

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

3-② 水源地周辺の開発を防ぎ、上水道の水源地を守る

水源を守るため、条例に基づく規制等により、その水源涵養機能を維持すると同時に、周辺が買い占められないよう、必要に応じて町が土地所有者から買い受けて開発を防ぐ等の保全策を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 水源地及び水源周辺地の公有地化推進

■指標の目指そう値【水源地周辺の保全の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝64.0

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝67／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

3-③ 川を汚さないために、生活排水対策を進める

公共下水道が使えない地域では、合併処理浄化槽の設置が進められていますが、未導入世帯等の設置促進を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 下水道長寿命計画の策定
- ・ 下水道施設設備等の更新及び下水道管渠施設整備
- ・ 合併処理浄化槽の整備推進

■指標の目指そう値【排水処理の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝58.3／平成27年度＝63.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝72.5／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

3-④ ごみ総量削減に向けごみ分別の精度を上げ、リサイクルの仕組みを改善する

ごみ分別の細分化と堆肥センターによってリサイクル率は向上しましたが、ごみの総量削減を図るため、分別の更なる改善等を通じて、3R（リデュース：発生抑制・リユース：再使用・リサイクル：再利用）の推進等と合わせ、廃棄物のリサイクル率を向上させます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 多言語化対応含め広報誌等によりごみ分別徹底の意識啓発
- ・ ごみの排出を抑制する生活や事業活動についての啓発
- ・ 次期最終処分場の検討

■指標の目指そう値【ごみの分別リサイクルの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝64.7／平成27年度＝59.9

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅰ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝70 / 平成35年度＝75

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

【第1ステップから第4ステップまで継続的に取り組む政策】

3-⑤ 安全・安心でおいしい水を供給する

羊蹄山やニセコ山系を水源地とするおいしい水道水を、町内全域に供給します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 地域水道ビジョンの策定

- ・ アセットマネジメント手法に基づく水道施設の改修・更新（耐震化推進）
- ・ 水道施設維持管理の官民連携による町内での起業や雇用の促進
- ・ 水道未普及地区への水道水の供給

■指標の目指そう値【美味しい水の供給の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 27 年度＝74.0

※重視度類型：平成 27 年度＝Ⅱ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝77／平成 35 年度＝81

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

(4) 生活基盤

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

4-① 必要な生活空間が確保できる公営住宅に入居できるよう居住調整の仕組みをつくる

家族が少なくなった高齢者にとって住み続けた公営住宅が広すぎるようになったり、家族の多い若い世帯が狭い公営住宅に住み続けたりというミスマッチの解消に向けて、子育て支援住宅や高齢者住宅の整備につとめます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ミスマッチ解消のための用地買収
- ・ ミスマッチ解消のための高齢者及び単身者用住宅建設

■指標の目指そう値【ミスマッチ解消の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝44.9

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

4-② 民間住宅の建設を促進し、住宅不足を解消する

住宅不足が町の発展にとっても大きな問題になっていますので、民間による新たな住宅建設を促進します。民間住宅の建設を促進することにより関連産業の雇用拡大が期待できます。また、新規住宅や既存空き家に関する「空き家バンク」等情報の活用により需給のマッチングも期待されます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ アパート等民間集合住宅建設に向けた促進優遇の仕組みの充実
- ・ 土地開発公社との連携による宅地整備
- ・ 空き家の解体又は利活用
- ・ しりべし空き家BANKとの連携

■指標の目指そう値【住宅不足解消の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝49.6

※平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

4-⑤ 利便性の高い公共交通（バス等）を地域に導入する

従来の鉄道や路線バスを補うものとして、デマンドバスシステム等、地域住民の生活実態に見合った新たな公共交通システムを導入します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ デマンドバスの町内運行の利用向上策の展開
- ・ 地域住民の生活実態に見合う交通体系の検討

■指標の目指そう値【デマンドバス運行状況の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝47.7／平成27年度＝44.2

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使用します

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

4-③ 市街住宅地にも誇りに思える景観をつくる

住んでいる家のまわりが、生活環境や景観等の面から愛着と誇りを抱けるようなまちづくりを進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 市街地（住宅地）の景観調査による改善点等の検討
- ・ 廃屋の撤去による環境美化の実施

■指標の目指そう値【居住地周辺の景観の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝67.1／平成27年度＝66.9

※重視度類型：平成22年度＝Ⅰ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝75／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

4-④ ニセコ町全域のグランドデザインを描く

ニセコ町全域の将来構想に向けたグランドデザインを描きます。グランドデザインを描くにあたっては、既に進行中の道道ニセコ停車場線の歩道拡幅やニセコ中央倉庫群再開発事業と整合性を図りながら進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ニセコ町全域のグランドデザイン策定
- ・ 道道ニセコ停車場線の街並み再整備の推進
- ・ ニセコ中央倉庫群の活用による中央地区の活性化

■指標の目指そう値【市街地街並みの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝46.2

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

4-⑥ 総合交通体系の整備により広域的な利便性を確保する

高速道路や新幹線の延伸に向けて、鉄道在来線の存続とともに、新千歳空港や札幌都心、苫小牧港や小樽港等、主要な交通拠点との広域的な利便性を確保します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 新幹線や高速道路に接続する地域内交通体系の検討
- ・ 在来線の活用に関する地元の意向形成

■指標の目指そう値【高速交通体系の誘致の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝34.7／平成27年度＝47.9

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

【第1ステップから第4ステップまで継続的に取り組む政策】

4-⑦ 老朽化した既存の公営住宅の長寿命化を図る

老朽化しつつある公営住宅は、適切な時期と方法を判定して、必要な補修等を行うことで長寿命化やライフサイクルコストの縮減が可能となるので、計画的な改修等の住宅整備を随時行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 「公営住宅等長寿命化計画」に基づく整備の推進
- ・ 教職員住宅の整備

■指標の目指そう値【公営住宅の長寿命化の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝75.6／平成27年度＝71.6

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝75／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

4-⑧ 町道・林道・農道の整備及び適正な維持管理を進める

生活道路の整備・補修について、計画的に点検・整備・補修を進めるため、さまざまな観点から優先度に関するルールを定めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ LED 防犯灯の整備
- ・ 整備計画に基づく町道や歩道、橋りょうの整備
- ・ 町が管理する道路（町道・林道・農道）の破損を最小限に抑えるための維持管理

■指標の目指そう値【生活道路の整備状況の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝59.8／平成 27 年度＝55.1

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅱ / 平成 27 年度＝Ⅱ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝65／平成 35 年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

4-⑨ 除排雪により冬季間の町道の安全を確保する

生活道路の冬の安全性を確保するため、通学路の歩道除雪等きめ細かい除排雪を行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 自動車・歩行者が安全に通行できるような、町道等の除排雪の実施

■指標の目指そう値【生活道路の除排雪の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝52.0／平成 27 年度＝50.5

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅰ / 平成 27 年度＝Ⅰ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝70／平成 35 年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン②：ニセコ町の地域資源を活かし、快適な生活基盤を整備します

(5) エネルギー

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

5-① 地域の特性に見合った多様な再生可能エネルギーをつくり、使う

環境モデル都市アクションプランに基づく取り組みを進めるため、多様な再生可能エネルギーの中から、持続可能で町内各地域の特性に見合った方式について実証実験を経ながら選び、地域住民と連携してつくり出したエネルギーを地域の中で使います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 民間施設を含め、地域内でエネルギーが事業化等により持続的に循環する仕組みの検討
- ・ 再生可能エネルギーの導入に関する実証実験の実施と、公共施設への先導的な導入などによる、地域全体への普及の促進
- ・ 地域のスマートコミュニティ化に向けた検討
- ・ 自然エネルギー研究会等、再生可能エネルギーへの地域住民の取り組みの支援

■ 指標の目指そう値【再生可能エネルギーを自給する仕組みに対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝33.6

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝40／平成35年度＝50

■ 指標の目指そう値【再生可能エネルギーの生産に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝36.6

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝40／平成35年度＝50

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

5-② 再生可能エネルギーに関する環境教育により、子どもと家族の環境意識を高める

地域特性に根ざした多様な再生可能エネルギーの導入実態をもとに、学校と地域を結ぶ子どもと家族の体験的学習を進め、地球環境や再生可能エネルギーについての関心と理解を深めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 学校における環境とエネルギーに関する学習の推進
- ・ 再生可能エネルギーの活用に取り組む住民活動と学校教育や社会教育の連

携による多様なプログラムの推進

■指標の目指そう値【再生可能エネルギーの学習に対する評価／100点満点】

- ①現状評価値：4年後(平成31年度)に行うアンケート調査により指標を作成
- ②目標評価値：平成31年度＝35／平成35年度＝40

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

5-③ 温室効果ガスを減らす生活や仕事のスタイルに転換する

環境モデル都市アクションプランに基づく省エネルギーの促進と、地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減のため、日常の生活や仕事のスタイルをさらに工夫することをはじめ、既存住宅の省エネルギー改修工事に対する補助制度の実施等さまざまな試みを行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・住宅を省エネ改修する工事への補助金交付による、二酸化炭素の削減促進
- ・化石燃料や電気の使用量を減らすライフスタイルやビジネススタイルへの転換

■指標の目指そう値【二酸化炭素削減への取り組みに対する評価／100点満点】

- ①現状評価値：平成22年度＝51.9／平成27年度＝41.8
- ※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）
- ②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

(6) 農林業

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

6-① 農業生産基盤の整備を環境や農村景観に配慮して進める

機械化の推進による農業近代化や、雪氷熱エネルギーの導入等による環境調和型農業の一層の拡大、新たな農作物や農業技術への挑戦などに取り組みます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 雪氷熱利用の米穀集出荷貯蔵施設の建設
- ・ 農業用近代化施設や機械の整備
- ・ 新規作物及び新規栽培技術導入のチャレンジ支援

■指標の目指そう値【生産性の高い強い農業の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝38.3

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-② 国営緊急農地再編整備事業を実施し、農地整備水準を高める

国営緊急農地再編整備事業を進めるにあたっては、農作業の効率化の観点に加えて、自然環境に与える影響を最小限にすることや美しい農村景観を守るなどの配慮を行いながら推進します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 国営緊急農地再編整備事業の推進

■指標の目指そう値【農地の保全の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝32.8／平成27年度＝40.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-③ 農地中間管理機構を活用し、農用地の利用集積を図る

農地中間管理機構制度を活用し、農地の利用集積、集約化を図り、担い手等への農地確保策を展開します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 農地中間管理機構による農地利用集積
- ・ 農地所有者代理事業の推進

- ・ 農地売買等事業の推進
- ・ 農地流動化緊急対策
- ・ 農地流動化促進事業
- ・ 「人・農地プラン」（地域農業マスタープラン）の展開

■ 指標の目指そう値【農業への支援システムづくりの現状に対する評価
／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝39.5

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-④ 地域で話し合いながら集落の再編を進める

高齢化や後継者不足による集落の過疎化が進み、コミュニティ活動の維持が困難になっています。近隣集落間で十分に話し合いながら再編を進め、新たな地域活動を活性化します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 地域の合意による集落再編の推進

■指標の目指そう値【農村集落再編の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝44.2

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

6-⑤ 共同経営体や農作業の受託をする組織をつくり育てる

酪農家「TMRセンター」^{※P63}やコントラクター（農作業を建設会社等が請け負う仕組み）等、農業経営の共同化や外部委託の導入に向けたさまざまな取り組みを活発化し、農家の高齢化や新たな担い手の育成などの課題解決に向けた取り組みを行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 草地畜産基盤の整備
- ・ 自給飼料の生産拡大
- ・ 町営集約草地の更新
- ・ 共同経営体（TMR^{※P63}等）の育成指導

- ・ 農業生産法人設立の支援
- ・ コントラクター組織や異業種連携の推進
- ・ ようてい広域畜産クラスター協議会計画の推進

■指標の目指そう値【共同経営化の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝38.7

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑥ 地域ぐるみで農業の担い手を確保し育てる

農業後継者や新規就農者等、次世代の農業者が夢と意欲をもって取り組めるよう、農業技術面・経営面だけではなく、ネットワークづくりや生活支援面なども含め、包括的に担い手を育成する。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 中核的担い手（認定農業者、指導農業士、農業士）の育成支援
- ・ 女性の経営参画の促進
- ・ 農業青年活動の促進
- ・ ニセコ高校との連携
- ・ 中心経営体や青年農業者等農業担い手の育成
- ・ 新規就農者の就農育成支援
- ・ 北海道担い手育成センターとの連携
- ・ 農村花嫁対策

■指標の目指そう値【農業の担い手の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝33.5／平成27年度＝38.3

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑦ 環境にやさしく安全安心でおいしい農畜産物を充実させる

化学肥料や農薬の量を減らして、環境にも健康にも優しい安全・安心な農畜作物の種類を増やします。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 堆肥センターの運営・維持管理
- ・ 完熟堆肥流通の促進

- ・ 有機質資源の確保
- ・ 土壌診断
- ・ 残留農薬の緊急対策
- ・ クリーン農業の推進
- ・ イエスクリーン認証米生産対策の支援
- ・ 農業廃棄物類の適正処理
- ・ 環境保全型農業の推進
- ・ 再生可能エネルギーの利用推進

■指標の目指そう値【クリーン農業の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.3／平成27年度＝44.1

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑧ 都市住民との交流を深めるグリーンツーリズムを進める

環境にやさしい農業を進めるニセコ町で農作業体験や簡易宿泊を兼ねた滞在型の市民農園等を楽しむ都市住民との交流を深めることで、農産物のブランド力を高め、観光の魅力を向上させます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 自然や農業等を対象とするニセコの特色を生かしたアグリツーリズムの推進
- ・ 観光事業者と連携した自然体験や農業体験
- ・ 市民農園の開設の検討

■指標の目指そう値【グリーンツーリズムの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝42.5

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑨ 林業労働者の確保や林業経営の健全化を進める

民有林所有者の多くは、森林の健全な育成管理が不十分な実態にあります。森林の管理にあたる経営体制のあり方について検討を深めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 新たな森林計画制度に基づく「森林経営計画」の策定による効率的な施業

■指標の目指そう値【林業経営の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝37.7

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

6-⑩ 生産性の高い強い農業経営を行う

新たな営農モデルの確立を目指し、輪作体系の確立や高収益で高品質な作物の導入等を通じて農業経営の強化を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 輪作体系の確立
- ・ 高収益高品質な作物の導入
- ・ 新品質・新技術の導入
- ・ 新たな営農モデルの確立
- ・ 経営所得安定対策の推進

■指標の目指そう値【生産性の高い農業の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝38.3

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑪ 環境にやさしい農産物のブランド化を進める

化学肥料や農薬の量を減らして、環境にも健康にも優しい安全・安心な農作物をニセコのブランドとして確立し、地元市場や中央市場での付加価値を高めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ニセコ町「とっておき米」のブランド化による販売促進
- ・ クリーン農産物の地域ブランド化と販売促進
- ・ 地場産酒米使用「蔵人衆」の販売促進と特産品の開発
- ・ ビジネスマッチング（農家と農産物加工業者・販売業者）

■指標の目指そう値【クリーン農業に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.3／平成27年度＝44.1

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

6-⑫ 農畜産物の地産地消をもとに6次産業化を進める

ニセコ町の農産物をブランド化することによって、地産地消においても付加価値が確保でき、新たな農業市場の形成が期待できます。また、地産地消を基本とした加工品開発と販売ルートの開発により、6次産業化を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 農産物加工化の支援
- ・ 乳酪製品の製造等事業展開の支援
- ・ 地場産米粉による地域おこし
- ・ 直売所やネット販売等による産地直売の推進
- ・ 農業体験等による食育、食農教育の推進
- ・ 地域内農畜産物提供システムの検討
- ・ 地場産品学校給食利用の推進支援
- ・ 農業の6次産業化を進めるための計画策定

■指標の目指そう値【地産地消と6次産業化の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝41.8／平成27年度＝44.3

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

【第1ステップから第4ステップまで継続的に取り組む政策】

6-⑬ 農地を保全し美しい景観を守る

明治以降の開拓によって、ニセコ町の地形や自然条件の上につくられた美しい農村景観を、町民の心の原風景として大切にするため、農地として維持します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 多面的機能支払交付金事業の推進
- ・ 中山間地域等直接支払事業
- ・ 緑肥作物の奨励
- ・ 耕作放棄地の再生利用

■指標の目指そう値【ニセコらしい農村景観の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝48.1／平成27年度＝50.6

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

6-⑭ 森林の公益的機能を重視した計画的な森林づくりを行う

森林の多様な機能、とりわけ水源涵養や大気浄化、生物の棲息空間、地域における里山的活用等公益的な機能を重視し、経済効果に偏らない活用に向けて、計画的な森林づくりを進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ニセコ町の現状に即した「里山」（暮らしやレクリエーションに利用できる身近な森林空間）の利用促進
- ・ 水道取水施設の流域保全等、特に水資源の保全上重要なエリアの保全

■指標の目指そう値【計画的な森林づくりの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝37.9

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン④：ニセコ町ならではの環境と調和した農業をつくります

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

※P58：TMR：センターまたは外部の組織が収穫、調達した粗飼料に各種の配合飼料等を混ぜたTMR(Total Mixed Ration)を調整し、各酪農家に配送する組織のこと。仕入れの一元化によって、肥料代、飼料代等のコストが軽減できるほか、草地管理に関わる機械や建物が共同の所有となり、個人所有と比べてコストが軽減できるなど、共同化に伴うメリットが大きいとされ、高いレベルの酪農経営に向けた意識改革が期待できるほか、新規就農者の育成等人材育成にも寄与できる

(7) 商工業

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

7-① 地元企業間や外国企業相互に、連携しやすいビジネスサポートシステムをつくる

国内資本及び海外資本の多様な立地企業がそれぞれのノウハウを交流することで、地域の中で新たなビジネスチャンスが広がる可能性を有していることから、互いの交流を積極的に進める仕組みをつくります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 経営支援の充実と企業間調整等商工会機能の充実
- ・ 商工会が行う経営発達支援計画に基づく施策の支援
- ・ 季節労働者向けの知識習得研修
- ・ ビジネスマッチング

■指標の目指そう値【ビジネスサポートの現状に対する評価／100点満点】

- ①現状評価値：4年後(平成31年度)に行うアンケート調査により指標を作成
- ②目標評価値：平成31年度＝35／平成35年度＝40

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

7-② ビジネス誘致のルールをもとに、国内外の企業誘致活動を進める

平成23年度に作成された「企業立地ガイドライン」の趣旨に基づき、地域資源を持続的に活用するための各種規制の主旨を理解し、ともにまちづくりを担い、地場産業の付加価値を高める事業活動を行う企業の誘致を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 企業立地ガイドラインの趣旨に基づく、ともにまちづくりを担い、地場産業の振興に貢献する企業の誘致推進
- ・ 企業立地に係る総合相談窓口の整備
- ・ 産業競争力強化法（平成25年法律第98号）に基づく創業支援事業計画策定による小規模事業所の支援
- ・ ニセコ中央倉庫群の活用による活動拠点の整備・確保
- ・ 誘致企業に対する中小企業特別融資
- ・ 地域産業活性化計画の策定・推進

■指標の目指そう値【企業誘致活動の現状に対する評価／100点満点】

- ①現状評価値：4年後(平成31年度)に行うアンケート調査により指標を作成
- ②目標評価値：平成31年度＝40／平成35年度＝50

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

7-③ 時代に合わせた道の駅ニセコビュープラザのあり方を検討し、つくり出す

ニセコビュープラザの課題を解決し、将来に向けて新たな発展をもたらすための構想とその実現手法等について検討します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 重点道の駅「ニセコビュープラザ」の機能のさらなる拡充
- ・ 一元的な観光・農業連携組織の確立に向けた構想と実現手法の検討

■指標の目指そう値【道の駅ショッピングエリアに対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝55.5／平成27年度＝54.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

7-④ 地域課題を解決するビジネスを起こす

環境の保全等さまざまな地域社会の課題に持続的に取り組むため、収益を上げる事業化を目指すソーシャルビジネス（社会的起業）などを支援します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 商工会機能の充実に yönelik 情報の蓄積と経営支援
- ・ 地域内におけるエネルギーの事業化等による持続する仕組みの検討
- ・ 環境に関する地域課題を解決するソーシャルビジネスの起業促進
- ・ 国・道・大学・企業の支援による人材育成「ニセコビジネススクール」
- ・ ビジネスセミナーの開催
- ・ にぎわいづくり起業家等サポート事業
- ・ 起業に対する中小企業特別融資
- ・ クラウドファンディングによる資金調達

■指標の目指そう値【地域課題解決型起業の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝32.6

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

戦略ビジョン①：ニセコ町の自然環境と景観を守り、生活環境を向上させます

戦略ビジョン③：資源やエネルギーを地域内で上手に使います

7-⑤ 地域内経済構造の変化に応じた商業活性化

従来の生活様式や企業活動を前提にした商業展開に加えて、新たに立地する企業や新しいライフスタイルを携えて移住する住民のニーズを的確に把握して対応する、新たな商店街の形成を目指します。また、商店街を訪れる人の賑わい誘発する空き店舗の活用によるたまり場づくりを支援する仕組みの構築や、インターネット上の仮想商店街と結びついた新たな顧客や交通手段の弱い高齢者への配達システムを組み込む等、総合的な仕組みづくりを進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 商店街機能の充実に向けた購買層の掘り起こし
- ・ 地元農産物を使った特産加工品、土産品の開発
- ・ アンテナショップ、小規模オフィス、地産地消レストラン、たまり場等の賑わい商店街の創出

■指標の目指そう値【市街地商店街の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝35.5／平成 27 年度＝33.4

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅳ /平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝60／平成 35 年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑤：商工業と農業、観光業の連携を進め地域産業の活性化を目指します

(8) 観光

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

8-① 農業・商業・工業と連携しながら、地域全体で観光客を迎え入れる体制をつくる

農業、製造業、商業などが生み出す地域資源や付加価値を観光客に提供することで、観光客の満足度を高めると同時に、地域の産業を活性化することができることから、各産業の関係者が連携し受け入れ体制の充実を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 地域イベントへの支援
- ・ 着地型観光誘致強化と受け入れ体制の充実
- ・ フィルムコミッションへの対応
- ・ 農業・商工業の連携による新たな観光資源の創出
- ・ フットパスやサイクリングルートなどによる広域的受け入れ環境の整備
- ・ 観光ニーズ調査による地元事業者との情報共有による共同の戦略づくり
- ・ ニセコエリアの広域的観光振興を担う「ニセコ観光局」の設置

■指標の目指そう値【他産業と連携する観光の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.5／平成27年度＝50.9

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【広域的な観光振興の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝40.4／平成27年度＝43.6

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

8-② 多様な組織や人々が連携して国内外観光客の受け入れ環境を向上させる

観光に関連するさまざまな公的機関や産業団体、観光関連事業者等が連携し、それぞれの特性を生かして受け入れ環境を充実します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 観光地の美化活動
- ・ 多言語対応スタッフの充実等、観光産業を担う人材の育成
- ・ 民間活力の強化・育成
- ・ 観光地としての魅力づくり
- ・ 観光施設の資質向上のための認証制度の検討

- ・ 交通アクセスの向上
- ・ 観光施設の適切な維持管理
- ・ スキー場の安全確保
- ・ ニセコエリアの二次交通の確保
- ・ ニセコ観光圏による受け入れ態勢強化
- ・ 既存組織の補完による今後の観光振興を強力に推進する体制づくり

■指標の目指そう値【住民によるおもてなしの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝43.3／平成27年度＝48.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

8-③ 各国・各地域に合わせてニセコ町の紹介の仕方を変える

海外各国や国内各地域によって、ニセコ観光に対するニーズは異なっているので、多様な関心のそれぞれに個別に対応する宣伝や売り込みを行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 観光PRツールの作成、新キャラクターの活用
- ・ マスメディアの活用
- ・ 都市圏でのプロモーション
- ・ 旅行会社へのプレゼンテーション
- ・ 観光ニーズの調査・分析と地元関係者間での情報と戦略の共有
- ・ ニセコ町を応援していただける人材の活用
- ・ 町内でのきめ細かな観光案内
- ・ 観光客等の客層に応じた観光情報の提供

■指標の目指そう値【観光需要掘り起こしの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝43.1／平成27年度＝46.4

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

8-④ リゾート観光エリアと市街地商店街が連携するための構想を描く

ニセコ山系を主要なゾーンとするリゾート観光エリアとニセコ町の市街地商店街とはつながりが少なく、互いの潜在力を活かしていないのが実態です。この両地区を密接に結びつけるためのランドデザインを描き、実現の方策を探ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 全町的な土地利用計画に基づくランドデザインの一部としてのリゾート地と市街地を結ぶ構想の策定
- ・ 地域特性の活用によるニセコリゾート各地区別の観光施設整備計画の策定

■指標の目指そう値【リゾート地域と市街地のつながりの現状に対する評価／】

①現状評価値：平成27年度＝28.9

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

8-⑤ リゾートやビジネスの国際化をもとに、会議などを誘致する

国際的なイベントや会議、大会、視察、見本市などのMICEは、アフターコンベンションや同伴者プログラムなど高い付加価値を生むので、ニセコ町の地域資源を活用したテーマを設定して、積極的に誘致活動を行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ MICEに係る情報収集やPR、誘致のためのツールの作成

■指標の目指そう値【MICE開催の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝41.0

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

8-⑥ MICEを支える地域住民の活躍の場をつくる

MICEの国内外からの参加者に対して、アフターコンベンションのプログラムも重要となります。多様なノウハウを持ったニセコ町民が参加し交流することで、地域住民の活動が広がり、深まります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 郷土芸能など文化発表の機会や、住民と訪問者との交流機会の創出

■指標の目指そう値【住民のおもてなしの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝43.3／平成27年度＝48.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

8-⑦ 外国人リゾート客等を対象とするさまざまなビジネスやサービスを展開する

国際リゾートとしてのブランドが高まるにつれ、新たなビジネスチャンスを探り、さまざまな国から多くのビジネスパーソンが訪れ、定住して事業を展開しています。この動向を加速させ、国際的なビジネス拠点としての地位を築きます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・外国人等による関連ビジネスのニーズや課題に関する調査と情報の提供、フォロー体制等の仕組みづくり

■指標の目指そう値【MICE開催の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝41.0

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑥：環境や地域文化を生かした観光を進めます

(9) 学校教育

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

9-① 幼児センターから高校までの学校間の連携が密になる仕組みをつくる

幼児センターから高校までの学校間連携を密にし、子どもの成長を一貫して支える教育機関の仕組みをつくと同時に、家庭との持続的な連携を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 特別な教育支援を必要としている児童・生徒に関する情報共有、支援、指導方法の共有
- ・ あそぶっくと各学校の連携、学校間での図書情報の共有、読書環境の改善向上による読書の振興
- ・ 全町児童生徒スキー大会
- ・ 幼児センターから高校まで一貫性のある教育活動の推進による「ニセコスタイルの教育」展開

■指標の目指そう値【学校間の連携の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝45.0／平成27年度＝44.4

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

9-② 学校における子どもの教育を地域全体が支え推し進める

子どもの成長を、知育・徳育・体育・食育等他方面から支えるため、学校や家庭、地域など多様な主体が関わり、ニセコ町で育ったことを誇りに思えるよう、子どものためのさまざまな問題についてともに考え議論し活動します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 学校支援ボランティアや放課後子ども教室等の学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の促進
- ・ ニセコ町教育振興基本計画の策定と計画進行管理
- ・ 各種少年団活動、少年ふるさと教室、青少年交流事業等、自然体験、郷土学習等の実施
- ・ 各学校の校舎等の改修工事
- ・ 安全・安心で美味しい地元の食材を取り入れた給食センターの運営
- ・ 各学校における家庭教育学級の開催
- ・ 地域と共にある学校づくりを目指した「コミュニティ・スクール」の推進

- ・ スクールバスの運行

■指標の目指そう値【情緒豊かで礼儀正しい子に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝52.3／平成27年度＝55.8

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅰ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【学習意欲・自分で考える子に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝47.4／平成27年度＝49.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【ふるさとニセコ町を愛する子に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.3／平成27年度＝56.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

9-③ 国際化・情報化に対応できる幼児教育・学校教育・生涯教育を進める

幼小中高等学校におけるALT（外国人青年の外国語指導助手）の導入等、国際化に向けた教育が進められていることから、平成24年1月に開校したインターナショナルスクール等、関係するさまざまな機関が連携して、国際的な教育を一層押し進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 幼児センターから高校まで連続性のある一貫した英語教育の実施
- ・ 町民を対象とした異文化交流の実施
- ・ あそぶっくオールイングリッシュでの読み聞かせ
- ・ インターナショナルスクールとの国際交流プログラムの推進
- ・ 住民が主体となって進める国際交流事業の拡充
- ・ ICT※を活用した学校教育の推進（※ICT：情報通信技術のこと）

■指標の目指そう値【国際化・情報化の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝41.3／平成27年度＝51.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

(10) 社会教育

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

10-① 子どもから大人まで、住民が地域の中で生涯にわたって学べる仕組みをつくる

地域町内には、多彩な人材や多様な地域資源が存在することから、このような地域の宝と連携することで、生涯にわたって関心事を学べる仕組みをつくります。特に、環境によるまちづくりを進めるニセコ町にふさわしい「環境教育・環境学習」を学校・家庭・地域が連携して進める、環境保全・環境創造の実践活動のプログラムを整え、展開します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 青少年の芸術鑑賞会の開催
- ・ ニセコ女性会の活動支援
- ・ 寿大学等高齢者向け学習機会の提供
- ・ 地域の人材や資源を活用したふるさと講座の開催
- ・ あそぶっくの運営（交流イベントの開催）
- ・ 地域の文化を活かして観光客との交流を深める仕組みづくり

■指標の目指そう値【あそぶっくの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝64.8

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝70／平成35年度＝80

■指標の目指そう値【地域で学べる仕組みの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.0／平成27年度＝41.1

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

(11) 芸術・文化

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

11-① 文化遺産の発掘や保護活動を進める

埋蔵文化財や歴史資源等の保存・再現などの活動を通して、地域の文化資源を再発見し学ぶ意味を見い出す生涯学習活動を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 文化財保護、埋蔵文化財保護
- ・ ニセコ中央倉庫群の活用による交流空間などの確保

■指標の目指そう値【文化遺産の発掘や保存の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝49.3／平成27年度＝50.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

11-② 芸術文化などを自ら学び創造を行う町民の活動を支援する

有島農場に関連する歴史や有島武郎の「相互扶助」の思想・芸術などを学ぶ住民の文化活動や文化イベントを、有島記念館を拠点に活性化させ、地域の成り立ちとそれを支えた精神風土から、今後のまちづくりの方向と生きる意味を学ぶ活動を展開します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 有島武郎の人と作品等を介した「相互扶助」思想の継承
- ・ 有島記念館の常設展・企画展、コンサートなどの充実
- ・ 有島文学の研究拠点としての研究事業
- ・ 有島文学に関する顕彰と学習機会の提供
- ・ 有島記念館、有島記念公園の管理運営
- ・ 「アーティスト・イン・レジデンス」や「有島カレッジ」の開催（若手芸術家や地元芸術家の育成）
- ・ 町民の文化活動の支援
- ・ 有島記念館ブックカフェの併設

■指標の目指そう値【有島武郎等の文化継承の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝57.9／平成27年度＝59.3

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝65 / 平成35年度＝75

■指標の目指そう値【町民の文化活動の活発さに対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝50.4／平成27年度＝51.2

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ／平成27年度＝Ⅰ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【町民文化活動への行政支援に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝46.6／平成27年度＝49.1

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ／平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

(12) スポーツ

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

12-① 気楽にスポーツができる仕組みを拡充する

総合体育館をはじめとしたスポーツ施設のほか、小中高校の体育館やグラウンドも活用し、町内のスポーツ交流を進めます。また、各学校とも連携し、児童生徒が積極的にスポーツができる環境づくりを進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 児童生徒がスキーに親しむ機会を提供するためリフト券を提供
- ・ スポーツを通じた地域の交流を活性化するため体育大会を開催
- ・ スポーツ技術の向上や体力向上のためスポーツ教室を開催
- ・ 体育施設の適切な管理運営
- ・ スポーツ指導者の育成
- ・ 町内のスポーツ施設の計画的な改修

■指標の目指そう値【スポーツ施設の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.3／平成27年度＝52.3

※重視度類型：平成22年度＝I / 平成27年度＝I（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

12-② 町民だけでなくスポーツ合宿で利用できる施設のあり方を検討する

スポーツ合宿へのニーズに対応するため、体育館やグラウンドなどスポーツ施設の整備について検討します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 町民スポーツ体育施設の整備構想における、スポーツ合宿誘致の可能性についての検討

■指標の目指そう値【スポーツ合宿ができる施設に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝34.8

※重視度類型：平成27年度＝IV（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝40／平成35年度＝45

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てます

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

13-① 健康的な食習慣と自分にあった運動で、病気にならない生活をすごす

生涯を通じた健康づくりと生活習慣病予防の観点から、バランスのとれた食習慣を身につけ生活パターンにあった自分なりの運動を楽しむよう、一人ひとりの取組みを支え、応援します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ メタボ予防の食生活講座や料理講習、メタボ対策の相談・支援
- ・ ヘルシーレストランの登録と利用の推進
- ・ 健康運動教室を利用した運動習慣化のきっかけづくり
- ・ 健康づくりに向けた自主グループの活動支援
- ・ 栄養士による食を通じた健康づくりの普及啓発
- ・ 乳幼児期における食事や生活習慣改善の支援

■指標の目指そう値【健康な食生活と運動の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝55.6

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

13-② 健康診断の受診率を向上させ、予防医療を推進する

生活習慣病等の原因となる生活習慣が改善するよう、予防医療の観点から、健康診断の受診率を向上させるよう、効果的な啓発活動を強化します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 健康診断の受診率を高めるさまざまな取り組み

■指標の目指そう値【健診率向上への取り組みの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝55.3

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60 / 平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

13-③ 心身の健康を維持するため、ストレスの解消、健康な歯や口腔づくり、禁煙等に努める

心の病気の原因ともなるストレスと上手につきあうライフスタイルの実現や、健康を維持する食生活に不可欠な歯や口腔の健康保持、喫煙や飲酒に依存しない生活等の実現に向けた取り組みを支援します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 心の健康講座の開催
- ・ 温泉資源におけるリフレッシュ活動を支援
- ・ 歯周病予防啓発による歯科検診の普及
- ・ 禁煙相談の利用促進

■指標の目指そう値【健康づくりの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.1／平成27年度＝52.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

13-④ 健康保険、介護保険、医療機関等の広域的取り組みを強化する

小規模自治体では、健康保険や介護保険、医療機関等の良好な運営には限界があります。その観点から後志管内町村による広域連合として取り組みを進めていますが、広域化の内実を挙げるため、さらに取り組みを強化します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 北海道における健康保険料や介護保険料統一への広域的取り組み（社会保障プログラム法に基づく取り組み）
- ・ 倶知安厚生病院等二次医療体制の充実に向けた広域的取り組みの推進
- ・ 広域行政による夜間救急医療センターの実現に向けた取り組みの推進

■指標の目指そう値【広域的取り組みの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝47.2

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

13-⑤ スポーツや食生活、多様な学習活動等が結びつき、生涯にわたって楽しめる健康づくりを進める

バランスのとれた食習慣やスポーツや無理のない運動、歯や口腔の手入れ、積極的なストレス発散に加え、読書や学習活動等による精神的充実感などを日常生活の一部として取り入れ、楽しみながら継続することで健康寿命を延ばします。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 体験講座やサークル活動等、町民が主体的に活動を行うためのネットワークの形成

■指標の目指そう値【健康づくりの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.1／平成27年度＝52.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

(14) 高齢者福祉

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

14-① 高齢者の社会参加の仕組みをつくる

高齢者が心身とも元気で地域社会とも交流を図り参加できるように、さまざまな機会を活用して高齢者が外出し地域社会と交流する機会を創出すると同時に、交流の場でともに楽しむ仕組みをつくります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 生きがい活動支援通所、外出支援事業
- ・ 老人クラブの育成
- ・ 高齢者の就労に関する支援
- ・ 歩こう会1日散歩の活用

■指標の目指そう値【高齢者の社会参加の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝50.6／平成27年度＝48.7

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

14-② 高齢者の健康づくりを進める各種プログラムをつくる

病気になって寝たきりにならないよう、高齢者が楽しく容易に運動できそうな健康体操を体験し、日常的に使えるような仕組みをつくります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 生活習慣病予防対策の推進
- ・ 独居等高齢者を対象とする介護予防の推進

■指標の目指そう値【健康づくりの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.1／平成27年度＝52.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

戦略ビジョン⑧：健康寿命を延ばして人生を楽しみます

14-③ 日常や災害時に高齢者を守る防犯・防災の仕組みをつくる

消費者詐欺等日常生活における防犯や、災害を防ぐための普段からの身の回りの準備、いざという時の避難支援など、高齢者を守る地域社会の仕組みをつくりま

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 災害時要援護者避難対策支援プランの推進
- ・ 救急医療情報キットの整備の推進
- ・ 安否確認の仕組みづくり
- ・ 成年後見制度利用支援事業の推進

■指標の目指そう値【高齢者の防犯・防災の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝36.3／平成 27 年度＝32.1

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅳ /平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝40／平成 35 年度＝50

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくりま

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくりま

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

14-④ 高齢者との心の交流を図る見守りネットワークをつくり参加する

独居あるいは高齢者のみの世帯が地域から孤立しないよう、さまざまな形でつながりを求め、交流を生み出す活動のネットワークをつくり、その活動に参加する中から、ともに生きる喜びを見い出します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 高齢者の見守り体制の推進
- ・ 認知症高齢者対策の推進
- ・ 高齢者の生活支援の充実
- ・ 生活支援のためのボランティアの育成支援

■指標の目指そう値【高齢者の見守りの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝46.2／平成 27 年度＝47.4

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅳ /平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝60／平成 35 年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくりま

戦略ビジョン⑦：町民がともに学びあい、支えあう文化を育てま

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくりま

14-⑤ 公共空間はユニバーサルデザインの環境整備を進める

公共空間は、高齢者や障がいのある人にとっても利用しやすく、また健常者にとっても使いやすいつくりになるよう、環境整備を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 公共施設のバリアフリー化促進
- ・ 高齢者にやさしい施設や在宅福祉等における居住環境の整備

■指標の目指そう値【身近な生活空間での移動の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝39.4／平成 27 年度＝39.0

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅲ / 平成 27 年度＝Ⅲ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝45／平成 35 年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

(15) 児童福祉

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

- 15-① 子育て世代を中心にこれからの子育て支援のあり方を検討する仕組みをつくる
子育て世代が育児等で孤立しないよう、同世代の子育て情報の交換や学び合い、
支えあいに向けた交流の場づくりを進め、これからの子育て支援のあり方につい
てともに考え提案できる仕組みをつくります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 育児相談・遊びの提供
- ・ 玩具や絵本の貸し出し等子育てサークルの支援
- ・ 子育てに関する講演会の実施
- ・ 子育てマップを作成し、妊婦や子育て家庭の転入時に配布
- ・ 親子で楽しめる子育て講座

■指標の目指そう値【相談や交流できる場の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝46.3／平成27年度＝47.2

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝62.5

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

15-② 児童虐待の未然防止の仕組みをつくる

全ての児童の健全な心身の成長と社会的自立を促していくため、児童虐待の発生
予防、早期発見と早期対応、保護と支援、アフターケアに至る切れ目のない総合
的な支援を講じます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 電話相談や保健師相談等の育児相談
- ・ 赤ちゃんが生まれた家庭や育児に不安がある家庭を訪問
- ・ 健診時や赤ちゃん訪問時に虐待防止パンフレット配布

■指標の目指そう値【相談や交流できる場の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝46.3／平成27年度＝47.2

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝62.5

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

15-③ 子育て支援に関わる多様な人々のネットワークをつくり参加する

子育て世代の人々が交流を深め話し合う場を共有することにより、互いの悩みを解消するとともに、子育てしやすい地域社会の創造に向けて活動することを地域全体で支えます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 健診、育児セミナー、育児相談等への参加
- ・ 本の購入や読み聞かせ等あそぶくとの連携
- ・ 高校生と妊婦や子育て家庭の交流会
- ・ 加工研や友の会等地域の活動グループとの連携

■指標の目指そう値【子育て支援ネットワークに対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝53.4

※重視度類型：平成27年度＝Ⅰ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝57.5／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

15-④ 幼児センターや子育て支援センター等各種保育教育機関の仕組みを強化する

幼児センターを始め、子育て支援センターや学童保育、放課後子ども教室など、さまざまな子育て支援機関の機能について、今後一層の充実を図るよう仕組みを強化します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 利用者ニーズに対応した幼児センターの運営システムを推進
- ・ ニセコこども館での学童保育と放課後子ども教室の一元化による子育て支援の推進
- ・ 幼児センターの給食における安全安心な食材の提供と食育の推進
- ・ 幼児センターの施設機能向上
- ・ 学童保育の対象年齢拡大（小学3年生まで→小学6年生まで）
- ・ 地域ボランティアとの連携などによる子育て支援の担い手の確保

■指標の目指そう値【子育て教育機関運営の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝59.7／平成27年度＝58.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅰ / 平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝65

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

15-⑤ 男女が協力して、子育てしやすい家庭環境をつくる

男女が家事等を分担し、協力しあって子育てをする幸せな家庭を築くよう、さまざまな子育て支援のセミナーや子育て世代の交流の場づくり等を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 父親の家事や育児参加の推進

■指標の目指そう値【家庭での男女共同参画の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝49.0／平成27年度＝46.3

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

15-⑥ 子育てを支援する職場の環境づくりを進める

子育て世代の男女の従業員を抱える職場に対して、家庭において協力しあって子育てができるよう労働時間や休日等の職場環境についての配慮を求め、その実現に向けて支援を行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 子育て世代の従業員に対する労働条件を配慮する仕組みづくり
- ・ 民間保育施設等の新規開設を応援する仕組みづくり

■指標の目指そう値【職場における子育て支援体制に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.0／平成27年度＝41.6

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝52.5／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

(16) 障がい者福祉

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

16-① 相互扶助の精神により支え助け合い、ともに暮らす地域福祉活動を進める

障がい者も健常者も区別なく地域で暮らせるノーマライゼーションの考え方を定着させ、お互いに尊重しあい、差別や偏見のない地域社会をつくっていくために、日常的な助け合いや見守り、声かけ等の地域社会活動を促進します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 啓発・教育・交流活動の促進
- ・ 人権擁護の推進
- ・ 地域福祉活動の促進

■指標の目指そう値【ノーマライゼーションの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝46.8

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

【第1ステップから第4ステップまで継続的に取り組む政策】

16-② 障がいのある人への教育的支援、就労支援、保健・医療・リハビリテーション支援を行う

障がいのある人が自立と社会参加をするための教育的支援、就労後の支援や訓練機会の確保、再訓練再学習の機会確保、保健、医療、リハビリテーション等の定期的な提供等に努めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 一貫した相談・支援体制の充実
- ・ 療育と教育の充実
- ・ 就業機会の拡充
- ・ 職業的自立の促進
- ・ 社会参加に向けた福祉的就労への支援
- ・ 保健活動や医療体制の充実
- ・ 民間施設の育成及び支援

■指標の目指そう値【障がい者の支援の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝42.1

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

16-③ 障がいのある人が自立し充実した生活を送るために、相談支援体制の整備と福祉の充実を図る

障がいのある人の地域生活を支えるために、情報提供、相談支援、権利擁護等の生活支援事業を進めるとともに、広域的連携や関係機関、関係団体等との連携を進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 相談支援体制の確立
- ・ 福祉サービスの充実
- ・ 地域生活支援事業の推進

■指標の目指そう値【障がい者の相談体制の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝41.0

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

16-④ ユニバーサルデザインの考え方による安全安心な生活環境を実現する

障がいの有無にかかわらず快適に利用できるユニバーサルデザインの考え方を浸透させ、安全安心な生活環境の創出を目指すとともに、防災・防犯体制の確立に努め、情報伝達や災害時の避難・救援体制を整備します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 福祉のまちづくりの推進
- ・ 移動手段の整備
- ・ 地域生活における安全の確保

■指標の目指そう値【ユニバーサルデザインによる安全安心な生活環境の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝40.3

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝50／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑨：顔が見える相互扶助の地域社会をつくります

(17) 防犯・防災

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

17-① 原子力防災計画を「地域防災計画」に追加する

3.11 東日本大震災を受けて、北海道電力（株）泊原子力発電所から 30km 圏内にあるニセコ町として、原子力防災計画を追加するなど地域防災計画の見直しを進めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 原子力防災計画の追加によるニセコ町地域防災計画の見直し
- ・ 日頃からの防災意識を高める啓発の推進
- ・ 住民参加による共同作業としての防災、避難経路マップづくりを行い、見やすいものに更新

■指標の目指そう値【地域防災計画の見直しに対する評価／100 点満点】

①現状評価値：平成 27 年度＝41.0

※重視度類型：平成 27 年度＝Ⅲ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝80／平成 35 年度＝90

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

17-② 消費者詐欺等から消費者が自らを守る仕組みを強化する

年々巧妙になっていく消費者詐欺から自らを守るため、情報の共有やとっさのときの対応方法等について、ようてい地域消費生活相談窓口を軸に広域的ネットワークの仕組みを強化します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ようてい地域消費生活相談窓口の相談機能の充実
- ・ 消費者詐欺等から消費者の身を守るための広報機能の充実

■指標の目指そう値【消費者詐欺等防止体制の現状に対する評価／100 点満点】

①現状評価値：平成 27 年度＝43.2

※重視度類型：平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝50／平成 35 年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

17-③ 広域の消防体制・救急体制における地域の消防力の充実

自治消防体制の基本が地域単位の消防組織であることから、広域的な羊蹄山ろく消防組合の中で消防力が発揮できるよう体制の強化を進めます。

■ 関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 羊蹄山ろく消防組合通信施設整備及び指令業務の一元化
- ・ 消防・救急デジタル無線整備
- ・ 消防組合情報ネットワーク網構築事業
- ・ 高規格救急隊の運用拡大及び救急体制の充実

■ 指標の目指そう値【広域の消防救急体制の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝58.8

※重視度類型：平成27年度＝Ⅱ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝65／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

17-④ 町民参加で避難訓練を行う

防災避難訓練の方法等について参加地区の住民と協議し、避難訓練を行います。

■ 関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 防災訓練実施計画づくり
- ・ 防災訓練の町民説明
- ・ 防災訓練

■ 指標の目指そう値【避難訓練の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝43.6

※重視度類型：平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝70／平成35年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

17-⑤ 防災対策の拠点となる防災センターの整備

防災対策の拠点となる防災対策専用庁舎（防災センター）の整備検討を進めます。併せて、防災拠点としての役場庁舎についても、耐震性の観点に不安があることから、耐震補強対策の整備検討を進めます。

■ 関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 防災拠点として必要な機能の集約等に関する検討

- ・ 防災及び災害時の情報伝達手段として、FM 放送を活用する体制づくり

■ 指標の目指そう値【役場庁舎の防災拠点化整備の現状に対する評価／100 点満点】

①現状評価値：平成 27 年度＝34.8

※重視度類型：平成 27 年度＝Ⅲ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝80／平成 35 年度＝90

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

【第 1 ステップから第 4 ステップまで継続的に取り組む政策】

17-⑥ 防災備品を整備し、定期的に備品を点検する

防災備品は常備しつつ定期的に点検して更新する必要があります。その時点で、防災意識の再確認に向けた防災教育や避難訓練等を行います。

■ 関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 防災備品のストックと定期的な更新に伴う防災教育の継続

■ 指標の目指そう値【防災備品の整備点検の現状に対する評価／100 点満点】

①現状評価値：平成 27 年度＝47.4

※重視度類型：平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝70／平成 35 年度＝80

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

(18) 住民自治

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

18-① まちづくり基本条例に基づき、多様な主体によるさまざまな住民参加の仕組みをつくる

まちづくり基本条例の趣旨と規定に則り、住民参加の現状について検証を進め、課題の克服に向けて住民参加を一層強化するための仕組みを考えます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ ニセコ町の現状に即した新たな住民参加のあり方の検討
- ・ まちづくりサポート事業の充実と強化

■指標の目指そう値【住民参加のしやすさの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝49.9／平成27年度＝47.5

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

18-② まちづくり基本条例に基づき、情報共有の仕組みを強化する

まちづくり基本条例の趣旨と規定に則り、情報共有の現状について検証を進め、課題の克服に向けて情報共有を一層強化するための仕組みを考えます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 広報誌、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等のメディアミックスによる情報発信
- ・ FM「ラジオニセコ」を活用した情報共有の推進
- ・ 情報共有の現状と今後に向けたあり方に関する住民参加による検討
- ・ 住民に提供する行政情報の質の向上を図るための意識改革
- ・ 住民活動を支援する行政制度に関する情報が得られる一元的な窓口の設置

■指標の目指そう値【情報共有の仕組みの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝39.7／平成27年度＝48.9

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【行政情報の質の向上の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝40.6／平成27年度＝44.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します。

【第2ステップ「見える化」で取り組む政策】

18-③ 「住民自身による新たな公共」を担う町民の連携を進める

行政や住民参加等ではなかなか解決が難しい地域課題について、町民主体による新しい公共（住民自身が公共的活動を提供する事業）の取り組みが始まるよう、支援のあり方を検討します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 政策横断的な課題について、多様な観点から住民が集まり、主体となって、行政と連携しながら検討を行う仕組みづくり
- ・ 町民ファンド等による住民の主体的なまちづくり活動を支える仕組みづくり
- ・ 住民活動を通して、信頼されるリーダーが育つ環境を整備
- ・ FM「ラジオニセコ」やツイッター等へ住民が参加することによる地域情報の共有と住民同士のつながり（コミュニティ）の強化

■指標の目指そう値【住民自身のまちづくり活動に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝47.1／平成27年度＝44.8

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝75

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

18-④ 住民自治を支える新たな担い手を町内外で確保する

我が国全体で人口減少が進んでいく中においても、まちづくりの担い手を町内外から確保します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 移住・定住フェア出展（特に創業や地域おこし協力隊の希望者向け）
- ・ 「ちょっと暮らし」の受け入れ
- ・ 地域おこし協力隊の受け入れと継続的活動
- ・ 結婚の出会いの場づくり
- ・ インターン制度の拡充

■指標の目指そう値【ニセコを支え応援する人々との連携の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝51.3／平成27年度＝53.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅱ / 平成27年度＝Ⅰ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝65／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

18-⑤ 地区ごとに地区ビジョンを充実させ、地区活動とコミュニティづくりを進める

第5次総合計画が目指す「地区ビジョン」の実現に向けて、地区住民が主体的に課題を整理し、解決策を模索する仕組みをつくります。また、地区活動を重ねて新たなコミュニティづくりができるよう、町行政はその支援を行います。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 地域住民の主体的な関わりを行政が支援することによる地区ビジョンの策定

■指標の目指そう値【地区を良くする活動の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝47.1／平成27年度＝48.6

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：災害に強く、安心して暮らせる地域をつくります

戦略ビジョン⑪：住民みんながまちづくりを考え、活動します

(19) 行財政

【第1ステップ「仕組みづくり」で取り組む政策】

19-① 地域を循環する予算執行の仕組みをつくる

地元企業に優位な入札制度や落札業者の労働者の賃金が妥当な水準に維持できるような公契約条例を制定します。また、公有財産の維持管理コストを長期間で縮減できるアセットマネジメントにより地元企業に発注できる範囲を広げる等、町行政が執行する予算が地域の中で循環する仕組みをつくりまします。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 入札制度改革、公契約条例の制定

■指標の目指そう値【町財政の持続可能な運営に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝46.8／平成27年度＝37.8

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝45／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

19-② 町行政の仕事の質の向上と効率化、及び住民対応を改善する

町行政全体の「見える化」と効率化を図ることによって仕事の質の向上を図り、住民に対しても町行政の透明性を進め、的確な住民対応を実現します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 町行政の仕事や住民対応に関する住民意見の把握と、住民参加の中で課題解決の方向性を探る場の設置
- ・ 役場職員の研修の拡充

■指標の目指そう値【住民への柔軟な対応ができる行政運営に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝49.3／平成27年度＝44.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【行政事務の透明さの現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝48.0／平成27年度＝43.2

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝60／平成35年度＝70

■指標の目指そう値【役場職員の能力向上の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.2／平成27年度＝39.4

※重視度類型：平成22年度＝Ⅲ / 平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝45／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

【第3ステップ「高度化」で取り組む政策】

- 19-③ 「住民自身による新たな公共」により、住民活動支援と財政のバランスを得る財政状況をわかりやすく公表し、住民負担と受益のバランスについて理解を深めてもらいます。その上で、行政は公共的事業や活動の提供側で住民は受け手側という関係を流動化させ、住民自身による公共的活動や公共性のあるビジネス起業により、公共的事業等に係る担い手創出や財政バランスの適正化が図られるよう、試行を始めます。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 予算ヒアリング等の公開による予算編成の透明性の確保
- ・ 社会情勢や政策の変化・総合計画に連動した財政計画の進行管理
- ・ わかりやすい決算資料の作成
- ・ 財務諸表の作成と開示
- ・ 財政基本条例の検討

■指標の目指そう値【財政状況の透明性に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成27年度＝44.2

※重視度類型：平成27年度＝Ⅲ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝55／平成35年度＝65

■指標の目指そう値【住民負担と財政のバランスへの評価／100点満点】

①現状評価値：平成22年度＝44.7 / 平成27年度＝36.0

※重視度類型：平成22年度＝Ⅳ / 平成27年度＝Ⅳ（→注：8ページ参照）

②目標評価値：平成31年度＝45／平成35年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

19-④ さまざまな領域において関係機関と広域的な連携を進める

各種課題の解決に向けて、関係機関と広域的に連携して取り組むことにより効果が高まる領域について、積極的に推進します。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 住民ニーズや社会情勢の変化等による行政の広域化の必要性とその手法等に関する検討
- ・ 国の地方創生人材との連携
- ・ 都市圏とのネットワーク強化
- ・ ふるさとづくり寄附を介した交流人口の拡大

■指標の目指そう値【広域行政の現状に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝46.2／平成 27 年度＝50.6

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅳ / 平成 27 年度＝Ⅱ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝55／平成 35 年度＝60

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

【第 1 ステップから第 4 ステップまで継続的に取り組む政策】

19-⑤ 町の財産の有効活用を図り、施設の整備を進める

公共施設の現状把握に基づき、有効活用に向けて維持経費コストの削減実施計画（アセットマネジメント）を作成し、随時修復等を行っていくほか、投資的事業については財政計画を基に優先順位付けや平準化を図り、長期的視野から町有財産の有効活用を図ります。

■関連する事業（戦略推進プラン）

- ・ 公共施設の現状把握、有効活用
- ・ 財政計画を基にした老朽化が進む公共的施設の建て替えについての検討（火葬場など）
- ・ 未利用地の把握、町有地の有効活用
- ・ 維持経費コスト削減実施計画（アセットマネジメント）の作成と実行

■指標の目指そう値【町財政の持続可能な運営に対する評価／100点満点】

①現状評価値：平成 22 年度＝46.8／平成 27 年度＝37.8

※重視度類型：平成 22 年度＝Ⅲ / 平成 27 年度＝Ⅳ（→注：8 ページ参照）

②目標評価値：平成 31 年度＝45／平成 35 年度＝55

◎実現を目指す戦略ビジョン

戦略ビジョン⑩：住民みんながまちづくりを考え、活動します

3-6. 戦略ビジョンの進行管理と評価の仕組み

(1) 総合計画の実施状況について、町民意識を基本に評価する

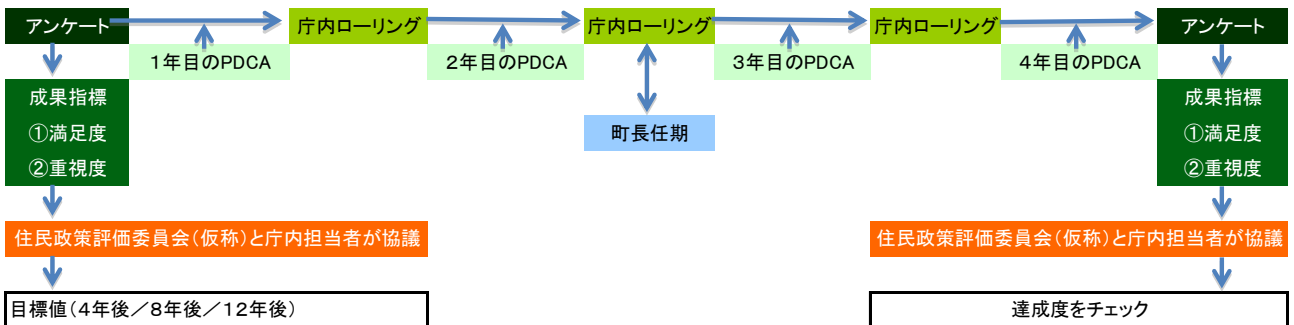
まちづくりを進める総合計画は、行政のみが実行するのではなく、町民や事業者が主体となって行う領域も大きくなっています。そこで、町民や行政自身が、自ら実施したことへの評価（自己評価）と他の主体が実施したことへの評価（外部評価）を組み合わせて、総合計画の進行過程や結果についてよりの確な進行管理を行うことが求められます。

第5次ニセコ町総合計画では、12年間の計画期間の途中にも町民アンケートを行い、得られる町民の評価をもとに【満足度】と【重視度】に基づく成果指標を算出し、計画の実施状況について評価を行います。目標値（目指そう値）は、平成27年度、平成31年度、平成35年度で設定し、その時期に実施する町民アンケート中間評価の結果と合わせて評価できるようにします。

※重視度：まちづくり全体の評価を上げる上で、どの政策項目の評価を上げるのが効果的なのかを、住民意識（満足度評価）の統計分析（重回帰分析）によって数値化した指標のこと。（8、33ページ参照）

(2) 4年に1回の町民意識調査（アンケート）と、毎年実施する町行政内部のPDCA

4年に1回、総合計画の多くの政策項目について、町民の評価を聞くアンケート調査を行い、その結果得られる成果指標を受けて町行政担当者はそれまでの仕事を振り返ります。さらに、町民の評価が向上するように仕事を工夫し、計画を進めます。



この循環した毎年の評価と対応の流れは、PDCA（Plan 計画→Do 実施→Check 点検→Action 見直し）とも言われる評価システムですが、庁内PDCAの積み重ねの結果を4年後に再び町民が評価するという、内部評価と外部評価を組み合わせた仕組みです。4年ごとに実施する町民アンケートによる評価結果が、当初設定していた目標値を達成しているかどうかについて、町行政各担当者は町民自らが組織する政策評価委員会によるアンケートの検討作業と連携して評価結果を分析し、次のPDCAに反映します。

なお、計画期間中に、状況の大きな変化があって、新たな政策が加わることもあり得ますし、早くに政策目標が達成されることもあります。計画の位置づけは、「成

長する計画」という考え方を基本に、毎年の庁内 PDCA においては、政策の個々について見直しなども含め柔軟に対応します。

※ 第1次見直し（平成27年度）の評価内容、及び評価指標の推移や新たな目標値は、144 ページ以降の資料参照のこと。

（3）4年サイクルの町民評価は町長の政策に反映され、さらに町民の評価を受ける

4年に1回の町民評価は、町長任期と関連する仕組みとなっています。町長は、アンケートで得られた町民の評価に対し、町長は翌年から改善に向けた方策を講じることになります。その結果をもって4年後の任期満了時に町民の審判を受ける、という循環が行われ、町民の評価と行政の仕事が密接につながるようにしていきます。

	町長任期	総合計画進行管理	住民の評価による進行管理と町長選挙の関連性
H21	任期満了		
H22	1年目	アンケート評価	
H23	2年目	(アンケート)	→H22のアンケートによる住民の評価をもとに、H24からの総合計画づくりに反映
H24	3年目	第5次計画 1	
H25	任期満了	← 2	
H26	1年目	3	
H27	2年目	アンケート評価 4	→H27のアンケートによる住民の評価をもとに、H28からの対応政策に反映
H28	3年目	5	
H29	任期満了	← 6	
H30	1年目	7	
H31	2年目	アンケート評価 8	→H31のアンケートによる住民の評価をもとに、H32からの対応政策に反映
H32	3年目	9	
H33	任期満了	← 10	
H34	1年目	11	
H35	2年目	アンケート評価 12	→H35のアンケートによる住民の評価をもとに、H36の次期総合計画に反映
H36	3年目		
H37	任期満了	←	

（4）アンケートによる成果指標の作成と分析は、町民と町行政が連携して行う

アンケートによる成果指標（満足度と重視度）は、統計的に分析し作成されます。この作業は主に町行政の担当者が行いますが、背景分析等の面で町民の参加が期待されます。

また、アンケートから作成された指標については、それぞれ関係する町行政の課係による背景分析が加えられ、それらをもとに住民政策評価委員会（仮称）で十分な検討が加えられ、検討結果については、住民説明会等を通じて広く住民に周知されます。

その際、第5次総合計画に示されている目標値、【平成27年度の目指そう値】【平成31年度の目指そう値】【平成35年度の目指そう値】と比較する検討も行いますが、乖離があった場合はその原因と克服に向けた取り組みについても公表します。

これら一連の検討の結果については、広報誌やホームページ、まちづくり町民講座等で町民と情報を共有し、まちづくりをともに担う「新たな公共」へ参加の輪を広げます。